

# 盛岡市道の駅基本設計（建築設計）業務委託

## 基本設計説明書

令和3年3月



# 目次

## I 基本設計説明書

1-1	計画概要・配置計画	．．．．．	I-02
1-2	平面計画・ゾーニング計画	．．．．．	I-03
1-3	平面計画_休憩機能	．．．．．	I-05
1-4	平面計画_レストラン	．．．．．	I-06
1-5	平面計画_軽食販売	．．．．．	I-08
1-6	平面計画_子育て支援	．．．．．	I-09
1-7	外部仕上計画	．．．．．	I-10
1-8	断熱比較表	．．．．．	I-11
2-1	構造計画（構造種別の比較検討）	．．．．．	I-12
2-2	構造計画概要	．．．．．	I-13
2-3	杭工法比較検討	．．．．．	I-15
3-1	電気設備計画	．．．．．	I-17
4-1	機械設備計画	．．．．．	I-18
5-1	各種法令検討（建築基準法）	．．．．．	I-19
5-2	各種法令検討（消防法）	．．．．．	I-21
5-3	各種法令検討（盛岡市景観計画）	．．．．．	I-22
6-1	概略工事工程表	．．．．．	I-23
7-1	施設イメージ	．．．．．	I-24

## II 基本設計図書

II-01	計画配置図
II-02	建築面積・延床面積求積図
II-03	各部屋仕様表
II-04	1階平面図
II-05	2階平面図
II-06	屋根伏図
II-07	立面図
II-08	断面図
II-09	1階梁伏図
II-10	2階梁伏図
II-11	R階梁伏図

# 1-1 計画概要

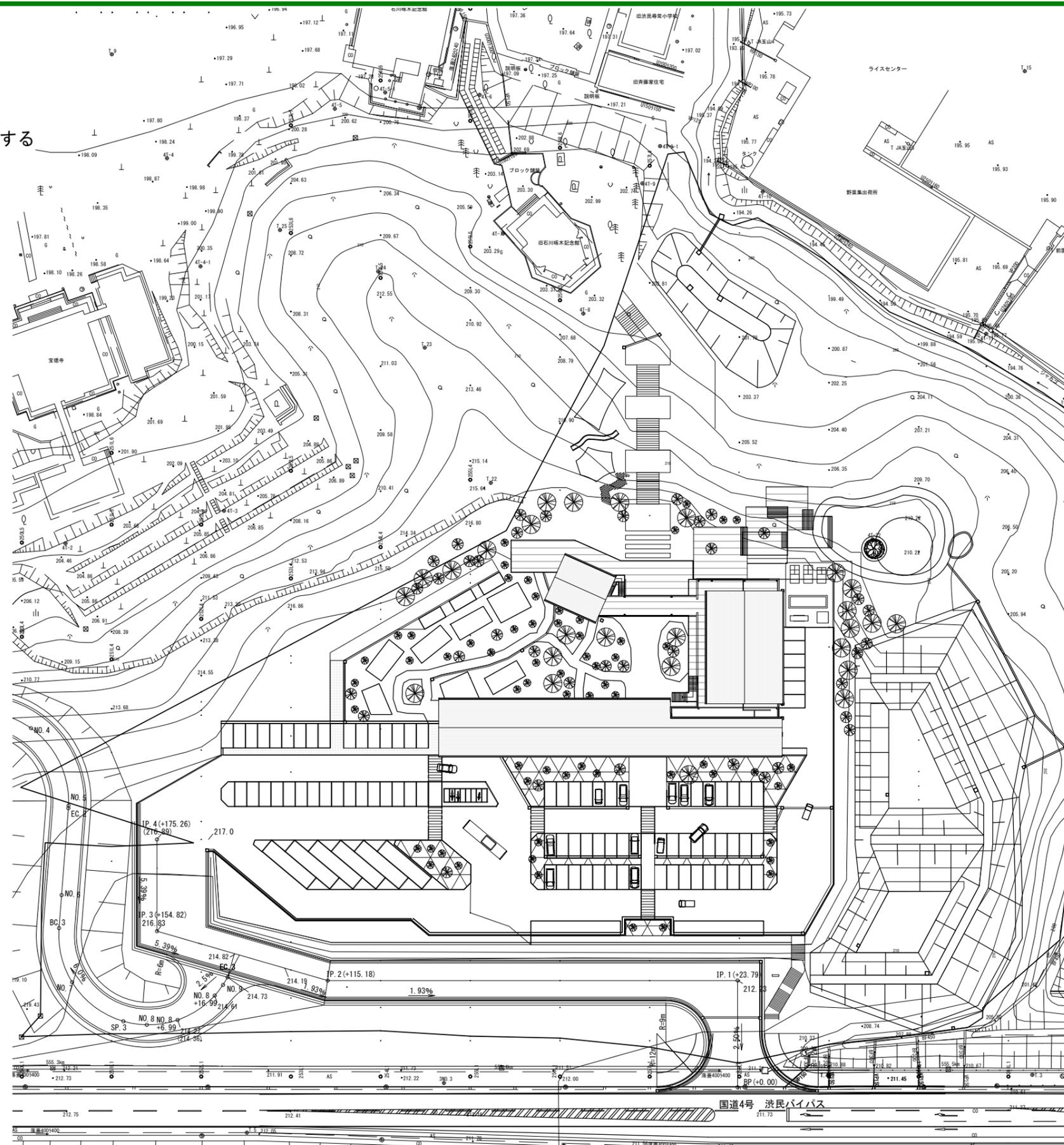
基本方針：「環境共生」をテーマに掲げ既存の地形や樹木を活かした施設計画とする

## ■敷地概要

- 地名地番 : 盛岡市洪民字洪民地内 (国道4号洪民バイパス沿い)
- 都市計画区域 : 都市計画区域 (市街化調整区域)
- 用途地域 : 指定なし
- 防火地域 : 指定なし
- 法第22条区域 : 指定なし
- 道路 : 国道4号 (42条1項1号)
- 道路幅員 : 10m (東側)
- 敷地面積 : 30,217㎡
- 容積率 : 200%
- 建ぺい率 : 70%
- 道路斜線 : 指定なし
- 隣地斜線 : 水平距離20m、勾配2.5
- 北側斜線 : 指定なし
- 日影規制 : 指定なし
- 高度地区 : 指定なし

## ■建築概要

- 建築面積 : 1,535.07㎡
- 延べ床面積 : 1,541.56㎡
- 主要用途 : 物品販売業を営む店舗 (08440)  
飲食店 (08450)  
公衆便所 (08310)
- 工事種別 : 新築
- 申請に係る建築物の数 : 2 (道の駅本体、受水槽) ※B棟群は除く
- 構造規模 : 鉄骨造2階建て

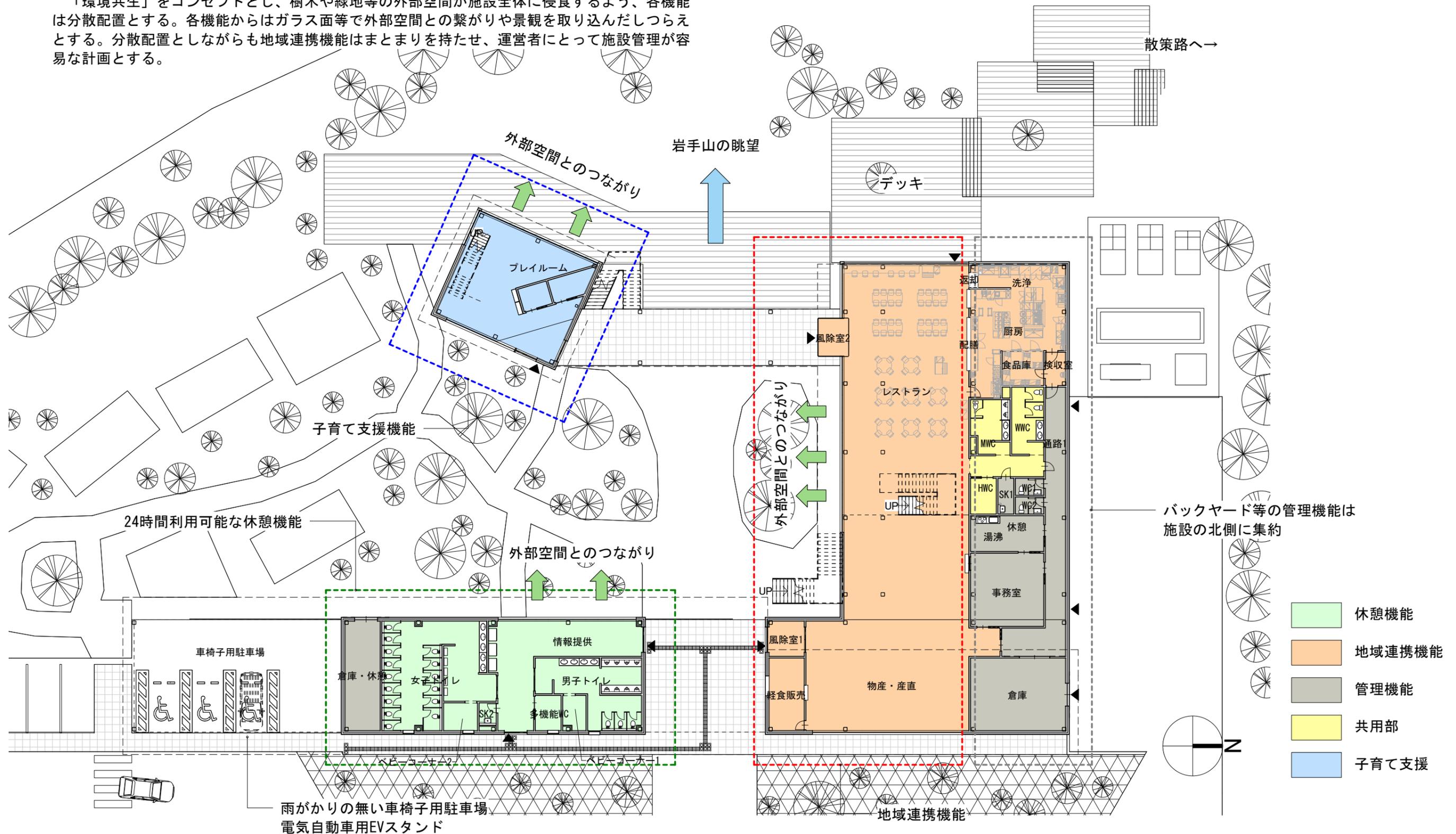


配置計画 1:1000

# 1-2 平面計画・ゾーニング計画

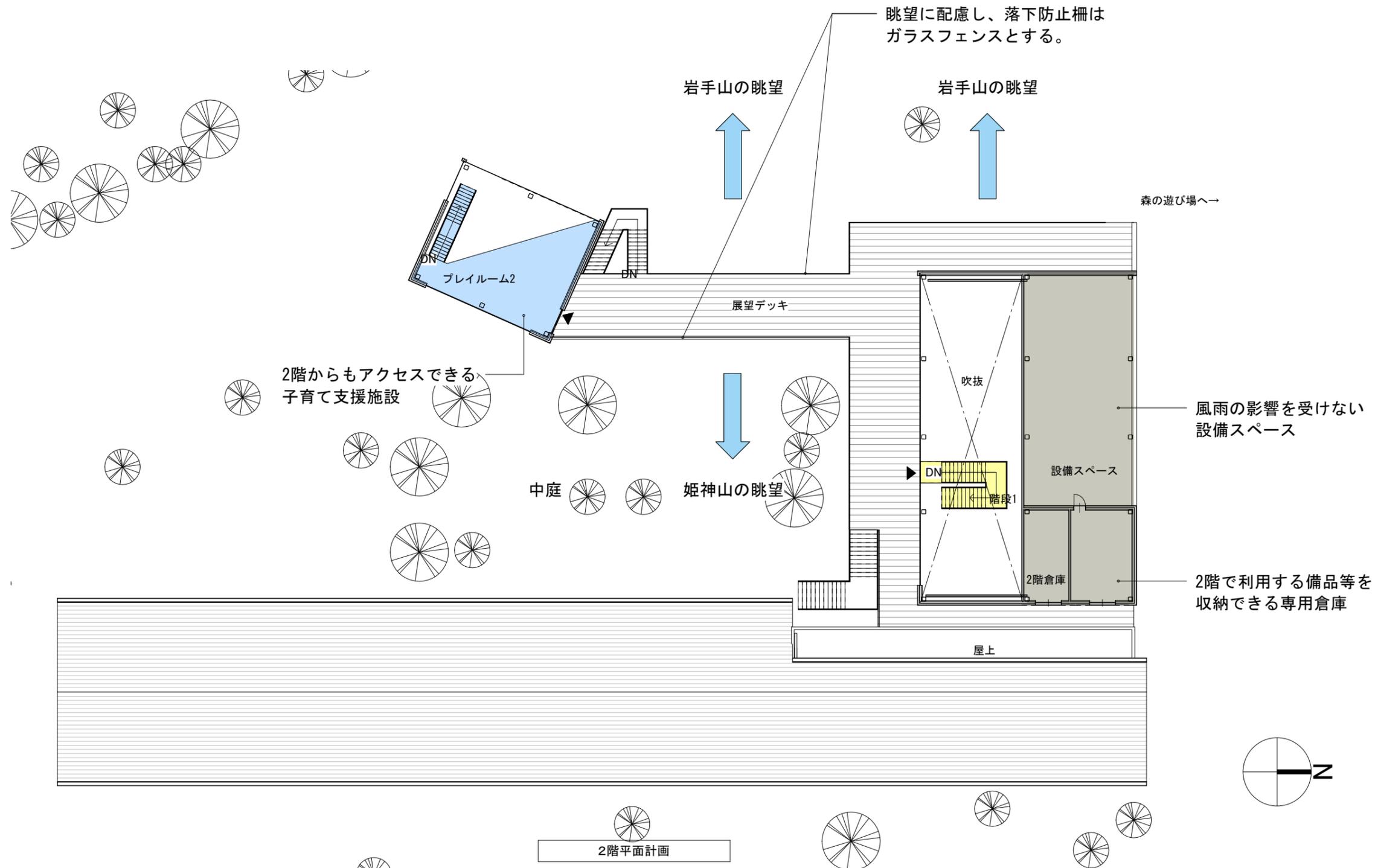
基本方針：外部空間との繋がりを重視した機能配置

「環境共生」をコンセプトとし、樹木や緑地等の外部空間が施設全体に侵食するよう、各機能は分散配置とする。各機能からはガラス面等で外部空間との繋がりを景観を取り込んだしつらえとする。分散配置としながらも地域連携機能はまとまりを持たせ、運営者にとって施設管理が容易な計画とする。



基本方針：外部空間との繋がりを重視した機能配置

2階は居室の配置は無く、東側に岩手山の眺望、西側に姫神山の眺望が得られる展望デッキで各棟を繋ぐ計画とする。デッキは中庭を取り囲むように配置し、自然環境との一体感を感じられる計画とする。利用者は主に、展望や休憩、軽食などに活用可能。



参考：ガラスフェンス



参考：スロープデッキ

- 休憩機能
- 地域連携機能
- 管理機能
- 共用部
- 子育て支援

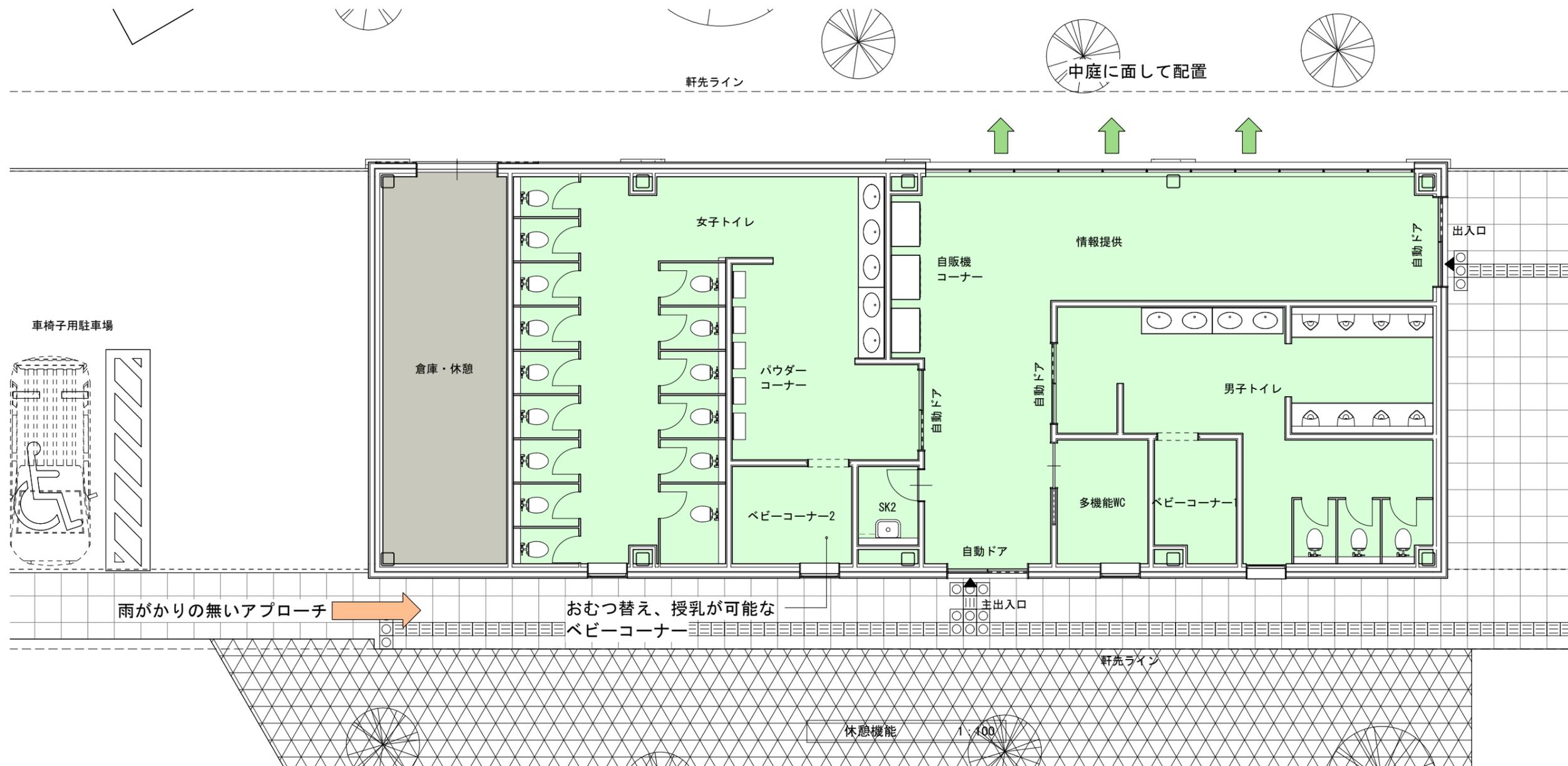
# 1-3 休憩機能

基本方針：休憩目的で立ち寄った利用者に使いやすい計画

休憩機能は24時間利用可能なトイレ機能として、駐車場から使いやすい計画とする。駐車場側に面して主出入口を設け、アプローチは軒を深く出すことで雨がかりの無い移動が可能。

情報提供施設は明るい中庭に面して配置し、十分な自然採光が得られる計画とする。情報提供施設を介して産直・レストランエリアへと利用者の動きを促す動線計画。

男女トイレはそれぞれにベビーコーナーを配置し、おむつ替えや授乳が可能な計画とする。女子トイレにはパウダーコーナーを整備しサービス向上を図る。



# 1-4 地域連携機能ーレストラン



レストランは岩手山への眺望に配慮し、西側に開けた飲食スペースを計画する。レストランへの出入りは産直スペースおよび風除室2の2か所とするが、中庭に面したカーテンウォールは引分けによる大開口を計画し、イベント時には開放できる計画とする。



- 厨房レイアウト条件は以下の通りとする。
- ・フードコート形式とし配膳カウンターを配置する
  - ・提供メニューは定食、丼もの、麺類、ドリンクを想定
  - ・食券によるセルフ方式を想定
  - ・厨房職員は事務、休憩、トイレを使用可能
- ※厨房機器一覧を次項に示す。

男女トイレは扉のない出入口、手洗いには自動水栓を採用し、非接触とすることで感染症予防に努める。

厨房機器一覧表

品番	名称	規格仕様	外形寸法 (m/m)			数	給排水				ガス (LPガス)		電気 (kW)			蒸気		フイード	備考	
			間口	奥行	高さ		給水 (A)	給湯 (A)	排水 (A)	ピット	口径 (A)	消費量 (kg)	単相100V	単相200V	三相200V	給気 (A)	排気 (A)			消費量 (kg/h)
1	ブレハブ冷凍冷蔵庫		3200	1450	(2500)	1														
2	スーパーエレクターシェルフ	P1590-4/BS1220-4	1212	536	1587	2														
3	スーパーエレクターシェルフ	P1590-4/MS760-4	758	460	1587	2														
4	水切付二槽シンク		1650	750	800	1	15×2	15×2	40×2											
5	パイプ棚		1050	350	1段	1														
6	平棚		600	350	1段	1														
7	ガスフライヤー	CF3-6013L	350	600	800	2				15	6.60	0.015							◎	油量12L
8	作業台		350	600	800	2														
9	スチームコンベクションオーブン	GS13-ESU+GS13-ESD	750	755	1780	1	15		40×2				11.000						◎	1/1ホチルパン6段(5段) (2段積) 電源:5.5kW×2
10	一槽シンク		1500	750	800	1	15	15	40											
11	脇台		1500	300	800	1														
12	ガステーブル	XY-1275T (特)	1200	750	800	1				20	63.60								◎	バックガード付
13	ローレンジ	XY-675L2	600	750	450	1	15			20	16.80								◎	
14	台下戸棚		1200	750	800	1														
15	電子レンジ	NE-711G	510	360	306	1						1.280								
16	上棚		1050	400	1段	1														
17	ガス炊飯器	RR-40S1	525	481	408	2				φ9.5φム	9.34								○	炊飯容量4.4升 (8.0L)
18	炊飯台		1200	750	800	1														
19	キューブアイスメーカー	IW-35W-1	500	450	800	1	15	20				0.190								
20	製氷機甲板		600	750	40	1														
21	テーブル形冷蔵庫	RT-120SDG-ML (特)	1200	750	800	1			40			0.328								定機内容積221L 天板角折
22	小型冷凍ストッカー	SCR-545	531	338	865	1						0.058								有効内容積43L
23	冷凍解凍調理器	UM241	380	580	450	2	15	40					7.000						○	
24	解凍調理器架台		760	600	490	1														
25	一槽シンク		400	600	800	1	15	15	40											
26	電気卓上ウォーマー	TEW-A	350	550	260	2						0.900								
27	電気卓上ウォーマー	TEW-B	350	550	260	1						0.900								
28	ウォーマー架台		1050	600	540	1														
29	台下戸棚		1800	600	800	1														
30	テーブル形冷蔵庫	RT-90SNG (特)	900	600	800	1			40			0.315								定機内容積157L 天板角折
31	電子ジャー	THS-C80A	460	380	390	2						0.077								ステンレス 保温容量4.4升 (8.0L)
32	電気卓上ウォーマー	TEW-C	350	550	260	2						0.900								
33	ウォーマー架台		1200	600	540	1														
34	テーブル形冷蔵庫	RT-90SNG (特)	900	600	800	1			40			0.315								定機内容積157L 天板角折
35	電気ウォーマーテーブル	EW1-1500BSP	1500	750	800	1	15	25					4.500							ホチルパン縦仕様
36	引出付作業台		600	750	800	1														
37	平棚付吊戸棚		1050	450	900	2														両面式
38	マイコンスーブジャー	TH-CU120	460	395	355	1						0.240								容量12L
39	ジャー架台		1050	600	600	1														
40	テーブル形冷蔵庫	RT-150SNG-RML (特)	1500	600	800	1			40			0.331								定機内容積335L 天板角折
41	ラック&ディッシュディスペンサー	RDD-502S	645	355	800	3														
42	キューブアイスメーカー	IW-230AM-1-SA	700	790	1850	1	15	40×2					1.040							貯水量 約150kg
43	一槽シンク		400	750	800	1	15	15	40											
44	浄水器	LA-104BN	112	114	276	1														ろ過流量: 5L/分
45	テーブル形冷蔵庫	RT-90SNG-R	900	600	800	1			40			0.315								定機内容積157L
46	コールドテーブル甲板		905	750	40	1														
47	コールドドリンクディスペンサー	DS-10WCF	252	440	580	2						0.290								
48	アイスビンテーブル		650	750	800	1			40											
49	コーヒーマシン	C-22 Thermo Brewer	232	515	781	1	15					3.100								
50	ガラスラックテーブル		350	750	800	1														

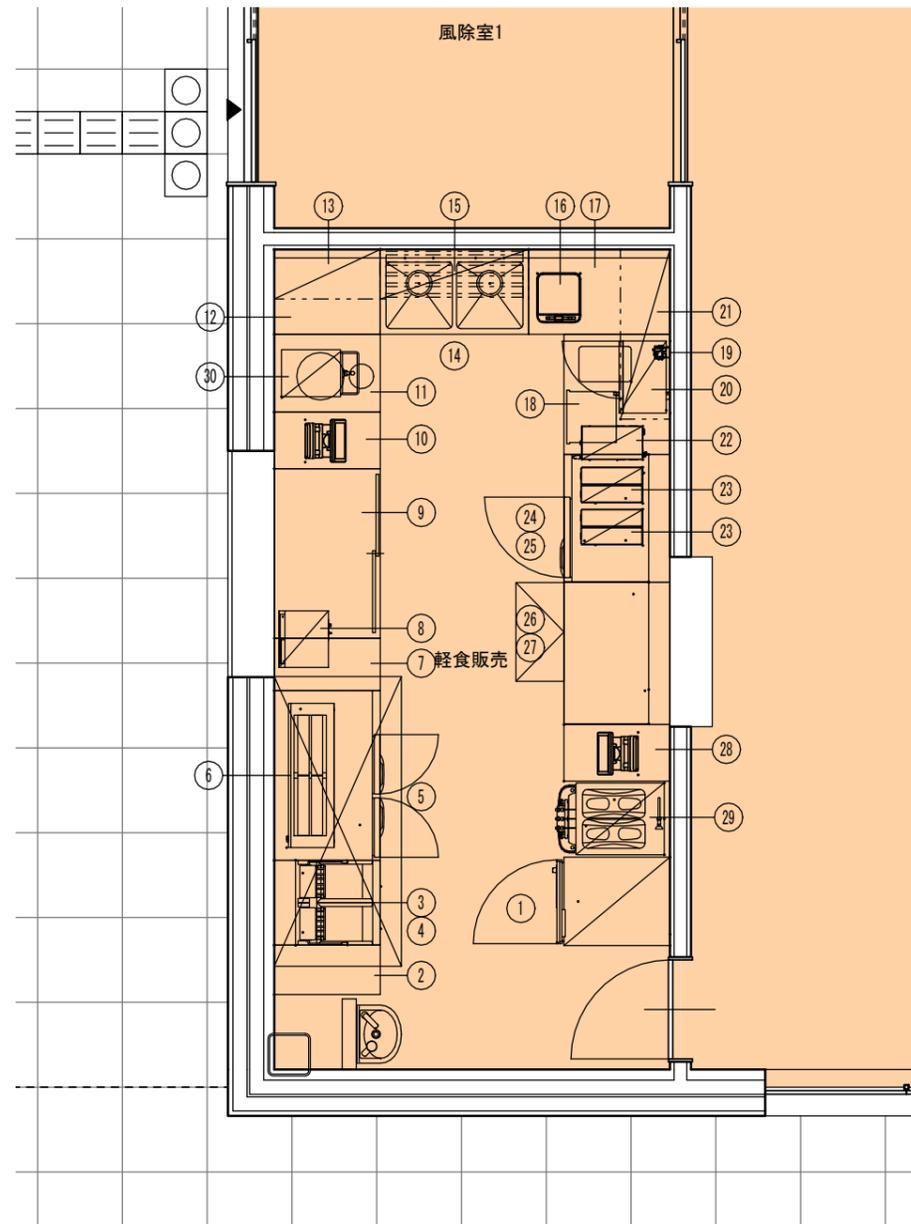
注) 設備容量の数値は各1台当たりを示す。注) 付属品として記載のない備品類・収納物は含まない。

品番	名称	規格仕様	外形寸法 (m/m)			数	給排水				ガス (LPガス)		電気 (kW)			蒸気		フイード	備考	
			間口	奥行	高さ		給水 (A)	給湯 (A)	排水 (A)	ピット	口径 (A)	消費量 (kg)	単相100V	単相200V	三相200V	給気 (A)	排気 (A)			消費量 (kg/h)
51	I H クッキングヒーター	KZ-OK1401	304	345	54	1													◎	
52	作業台		(470)	750	800	1														
53	作業台		(1430)	450	800	1														
54	スーパーエレクターシェルフ	P1900-4/LS1220-4	1212	613	1892	1														4段
55	スーパーエレクターシェルフ	P1900-4/MS1220-4	1212	460	1892	1														4段
56	スーパーエレクターシェルフ	P1900-4/MS1220-4	1212	460	1892	1														4段
57	ソイルドテーブル		1800	750	850	1	15×2	15	40×2											
58	ラックシェルフ		1600	400	1段	1														
59	食器洗浄機	E5-E10	707	750	1390	1		15	40×2				11.000						○	給湯条件: 40℃以上
60	クリンテーブル		850	750	850	1														
61	平棚		650	350	1段	1														
62	消毒保管機	MOK-20-eT	900	750	1900	2			40				5.400							電気式 (片面) D=750mm仕様
63	包丁まな板消毒保管機	KCSK-5-eT	550	550	1900	1			40				3.100							収容数 まな板10枚 包丁16本 逆扉仕様
64	スーパーエレクターシェルフ	P1900-4/LS610-4	605	613	1892	1														4段
65	給茶機	HTC-620LPA-0	450	515	1530	2	15		60				1.205							水道管結露排水式 浄水器付
66	サービステーブル		900	950	800	2														トレースライド付
設備容量合計													112.28	12.716	3.100	57.640			0.0	

注) 設備容量の数値は各1台当たりを示す。注) 付属品として記載のない備品類・収納物は含まない。

# 1-5 地域連携機能—軽食販売コーナー

軽食（ドリンク・スナック等）販売のためのコーナー。外部に向けた窓口と店内に向けた窓口を確保し、店内側はコーヒーカウンターとして利用しテーブルや椅子を配置する。



軽食販売スペース計画 1:50

品番	名称	規格仕様	外形寸法 (m/m)			数量	給排水				ガス (LPガス)		電気 (kW)			フイード	備考
			間口	奥行	高さ		給水 (A)	給湯 (A)	排水 (A)	ピット	口径 (A)	消費量 (kW)	単相100V	単相200V	三相200V		
1	冷凍冷蔵庫	HRF-63A-ED	625	800	1910	1			40				0.414				定格内容積453L (冷蔵室225L 冷凍室228L)
2	作業台		350	750	800	1											
3	電気フライヤー	TEF-10-5W-D	600	600	250	1								10.000	◎	卓上タイプ 5.0kW×2	
4	置台		600	750	550	1											
5	テーブル形冷凍冷蔵庫	RFT-120SDG-R (特)	1200	750	800	1			40				0.498				定格内容積290L (冷蔵室138L 冷凍室151L) 天板角折
6	ガス赤外線グリラー	RKG-64	1020	338	237	1				φ9.5コム	10.00				◎		
7	作業台		(370)	750	800	1											
8	温蔵ショーケース	OS-400N	400	350	465	1							0.520				
9	台下戸棚		1200	750	800	1											
10	レジ台		400	750	800	1											
11	作業台		550	750	800	1											
12	作業台		750	600	800	1											
13	平棚		750	350	1段	1											
14	二槽シンク		1050	600	800	1	15×2	15×2	40×2								
15	パイプ棚		1050	350	1段	1											
16	I Hクッキングヒーター	KZ-CK1401	304	345	54	1							1.400		◎		
17	作業台		(1000)	600	800	1											
18	引出付作業台		850	750	800	1											
19	浄水器	LA-104BN	112	114	276	1											ろ過流量: 5L/分
20	電子レンジ	NE-711G	510	360	306	1							1.260				
21	平棚		1200	350	1段	1											
22	コーヒーマシン	C-22 Thermo Brewer	232	515	781	1	15							3.100			
23	コールドドリンクディスペンサー	DS-10MCF	252	440	580	2							0.290				
24	テーブル形冷蔵庫	RT-90SNG	900	600	800	1			40				0.315				定格内容積157L
25	コールドテーブル甲板		905	750	40	1											
26	キューブアイスメーカー	IM-95TW-1	1000	600	800	1	15		40				0.460				貯水量 約38kg
27	製氷機甲板		1005	750	40	1											
28	レジ台		400	750	800	1											
29	ソフトクリームフリーザー	SSF-M440P	508	760	1530	1	15		40					3.200			
30	ビールディスペンサー	*	*	*	*	1							0.290				別途品
設備容量合計													10.00	5.737	3.100	13.200	

注) 設備容量の数値は各1台当たりを示す。注) 付属品として記載のない備品類・収納物は含まない。

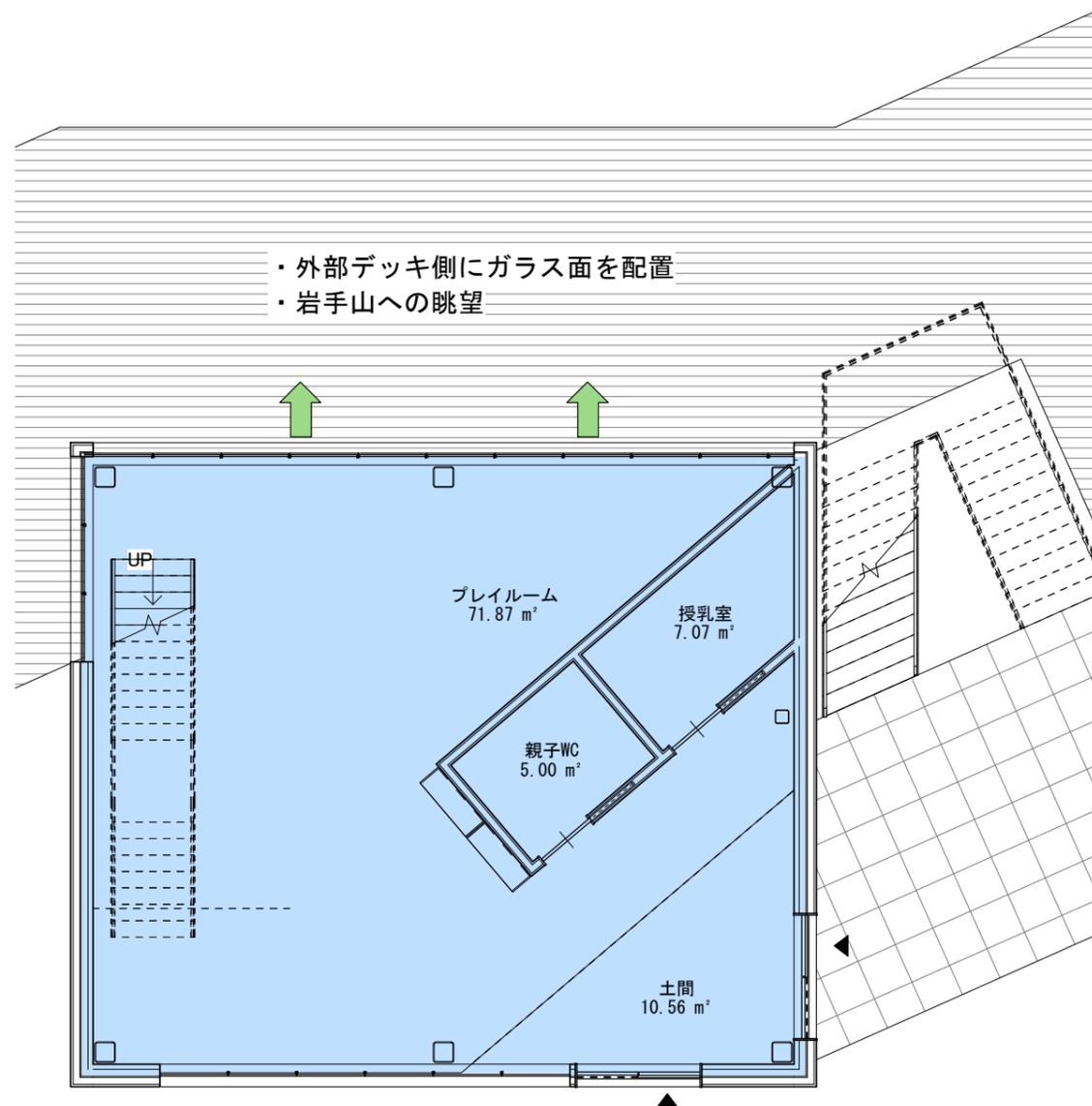
## 1-6 子育て支援機能

基本方針：子連れの利用者の時間の浪費を促す

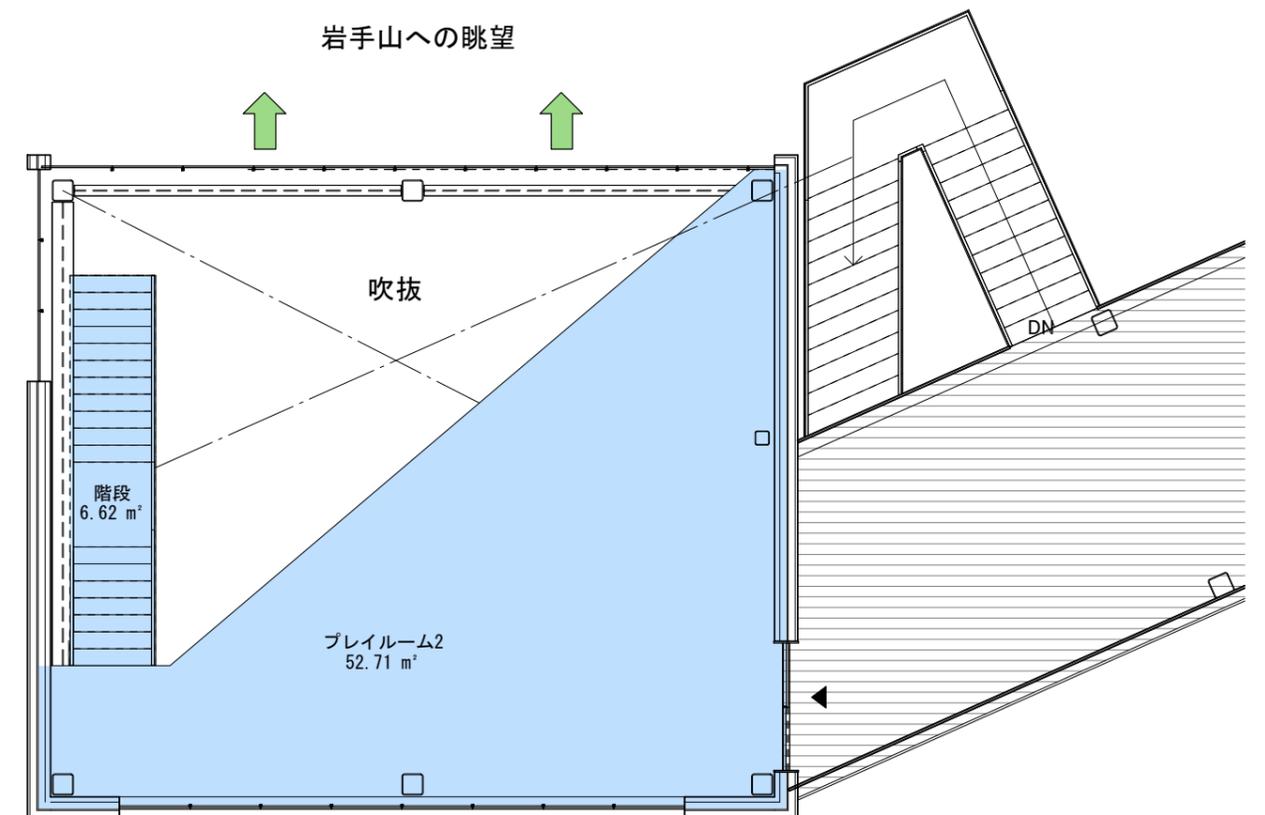
子連れでも利用しやすいよう遊び場としての機能を中心とした施設。親子トイレや授乳室等の設備を充実させ利用者の滞在を促す。岩手山への眺望や外部広場に対して開けた形態とする。主な出入りは1階外部からだが、展望デッキから2階へもアクセス可能な計画とする。



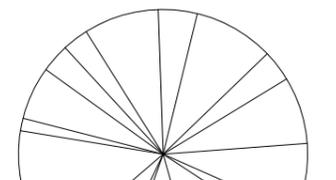
室内遊具イメージ



1階平面詳細図D



2階平面詳細図D



# 1-7 外部仕上計画

基本方針：玉山の歴史と景観の特色を調和させたデザイン

盛岡市景観計画の基準に適合するよう、屋根は3/10以上の勾配屋根を基本とし、軒の出とケラバの深さを十分に確保する。現地の山林の風景に溶け込むよう全体を低層に抑え、正面の外観は伸びやかな水平線を強調した形態とする。

外壁材はメンテナンス性を考慮し、耐久性の高いガルバリウム鋼板（下見板調）を基本とする。一部雨がかりの無い部分には木板張りを採用し温かみを表現する。色調は屋根・壁共に落ち着いた色調のあるアースカラーを基調とする。

名称	内容	名称	内容
屋根	一般屋根：耐火野地板 t18+高性能フェノールフォーム t50+アスファルトルーフィング940 カラーガルバリウム鋼板 t0.4段葺き 勾配3.0/10 破風・鼻隠：木板 t25+カラーガルバリウム鋼板 t0.4 軒樋：屋根一体型軒樋 堅樋：アルミ製φ114 雪止め：通しアングル 溶融亜鉛メッキ処理	開口部	建具：アルミ製ビル用サッシ、スチール製カーテンウォール、SUS製自動ドア ガラス：Low-E複層ガラス
軒天井	木板張り+WP塗装 珪酸カルシウム板 t6+EP塗装	展望デッキ	床：再生木材デッキ（金属根太下地） 落下防止柵：ガラスフェンスH1200
外壁	鉄骨横胴縁（グラスウール断熱材充填）+硬質木片セメント板 t18+金属垂木H50+硬質ウレタンボード t50 ガルバリウム鋼板サイディング張り（下見板調） 一部 木羽目板張り+WP塗装	外構	舗装：スタンプコンクリート（木デッキ調、石調）



外装仕上の例



外装イメージ

## 1-8 断熱性能の比較

外壁の断熱性能を比較検討の上選定する。

	①充填断熱	②外張り断熱	③付加断熱（充填＋外張り）
断面構成	<p>グラスウール16K t=100</p> <p>外壁材 金属系サイディング</p> <p>鉄骨胴縁</p>	<p>フェノールフォームt=50</p> <p>外壁材 金属系サイディング</p> <p>鉄骨胴縁</p>	<p>フェノールフォームt=50</p> <p>グラスウール16K t=100</p> <p>外壁材 金属系サイディング</p> <p>鉄骨胴縁</p>
熱貫流率 (W/m <sup>2</sup> K) (外壁および断熱材のみ)	0.421 (W/m <sup>2</sup> K)	0.412 (W/m <sup>2</sup> K)	0.215 (W/m <sup>2</sup> K)
参考設計価格	26,810 (円/m <sup>2</sup> )	28,800 (円/m <sup>2</sup> )	30,610 (円/m <sup>2</sup> )
ヒートブリッジ	鉄骨胴縁部分がヒートブリッジとなり断熱性能の弱点となる。	シンプルな形状ならヒートブリッジは無いが、庇や袖壁等複雑な形状には不向き。	充填断熱と外張り断熱の弱点を補い合うため、切れ目のない断熱が可能。

断熱性能については、①充填断熱や②外張り断熱と比較し③付加断熱の熱貫流率は約50%程度まで小さくなる。価格については、外壁材と比較すると断熱材の価格は安価であるため、外壁も含めたトータルコストは③付加断熱は①②に比べ1～2割程割高な程度である。

∴本計画では断熱性能と価格等を総合的に評価し、③付加断熱（充填＋外張り）を選定する。

## 2-1 構造計画

### ■構造種別の比較検討

	鉄筋コンクリート造	鉄骨造	木造
上部架構	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラーメン架構及び耐震壁併用ラーメン架構</li> <li>標準スパン10m以下</li> <li>ロングスパン梁にはPC梁を採用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大スパン構造の構成には極めて有利</li> <li>純ラーメン架構形式が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大断面集成材やトラス構造の採用により大スパン構造も可能</li> <li>耐火性能により高さ、面積に制限がある</li> </ul>
基礎	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物自重が大きく、基礎に要するコストが高くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的建物自重が軽く、基礎に要するコストが低くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物自重が軽く、基礎に要するコストが低くなる</li> </ul>
耐火性	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐火構造とするのは容易</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>準耐火構造とするのは容易であるが、耐火構造とするためには耐火被覆等が必要となる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>防火被覆や燃代設計により、準耐火構造は可能</li> <li>耐火構造とするためには、特殊な構法を採用する必要がある</li> </ul>
耐久性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンクリートの外壁となり、強度、耐久性能に優れる</li> <li>性能を維持するためには、仕上材のメンテナンスが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場で製作された耐久性に優れた外装材を採用することが可能</li> <li>性能を維持するためには、外装材の仕上げや継目の止水剤のメンテナンスが必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場で製作された耐久性に優れた外装材を採用することが可能</li> <li>性能を維持するためには、外装材の仕上げや継目の止水剤のメンテナンスが必要</li> </ul>
施工性 工事工期	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄筋、型枠、コンクリート工事等は比較的煩雑である</li> <li>PC梁採用の場合、多少工期が長くなる場合がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工事現場での作業期間が短く、外壁等は乾式工法となるため、工事工期は比較的短い</li> <li>使用する鉄骨部材によっては、発注、製作に長期間必要となる場合がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>構法により、施工の難易度に幅がある</li> <li>工事工期は、比較的短いですが、大量の木材を使用する場合、乾燥に期間を要する</li> </ul>
長所	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐火及び耐久性が比較的高い。型枠の作り方で自由な形状可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐力があり耐震性能にすぐれている</li> <li>耐火及び耐久性が比較的高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物自重が軽く、工法にもよるが柱スパンを広くとることが可能</li> <li>間取りの自由度が高い</li> </ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"> <li>重量が大きい</li> <li>柱間隔があまり広く取れない</li> <li>現場作業の職種と人数が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低層の場合、部材コストが割高になる場合がある</li> <li>現場作業の職種と人数が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シロアリや腐朽対策が必要</li> <li>大量の木材使用の為、材料確保が課題</li> <li>工場加工に時間を要する</li> <li>特定工法の場合、建築費が割高になる</li> </ul>
コスト	1.00	0.95~1.05 (市場の変動の影響大)	1.15 (大断面集成材工法)
耐用年数 (国税庁)	50年	38年	24年
総合評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>大スパン建築物に向かない</li> <li>自重が重く基礎への負担が大きいため、総合的にはコストが高くなる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗等の建築事例が多い</li> <li>スパンを長くして柱を減らし、杭本数も減すことで総合的に経済設計が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在来軸組工法として一般流通材を用いることでコストを抑えることは可能であるが、大スパンへの対応に課題がある</li> </ul>

## 2-2 構造計画

### ■構造計画概要

1. 建物名 盛岡市道の駅
2. 所在地 岩手県盛岡市浜民字浜民地内
3. 建物規模 地上2階建て 一部平屋建て
4. 用途 道の駅
5. 構造形式 鉄骨造
6. 架構形式 ラーメン構造
7. 基礎形式 杭基礎

### 8. 計画概要

#### 1) 全体計画

コの字型の平面計画のため、平屋建てのトイレ・物産・産直棟と2階建てのレストラン棟は接続部にエキスパンション・ジョイントを設ける。レストラン棟とプレイルーム棟は2階床レベルで展望デッキにより連結されているため、雨仕舞等に配慮して一体として計画する。

#### 2) 上部架構計画

切妻屋根形状にあわせ、建物のフレキシビリティに配慮して、柱に角形鋼管、梁にH形鋼を用いた山形ラーメン構造を採用する。

#### 3) 基礎計画

地質調査の結果、浅部の地盤はN値が低く支持地盤に適さない。また中間層にも支持層が確認されないため地盤改良の採用もできないため杭基礎を採用する。支持層として深度18～24m付近から火山礫凝灰岩層が確認されているが、N値が非常に高い上に不陸がみられるために、支持杭の場合には掘削不能による杭の高止まり等、施工上の問題が懸念される。よって杭工法は摩擦杭と支持杭との施工性・経済性の比較検討を行った上で決定する。

### ■仕様概要

#### 1. 全体計画

- 1) 構造計画にあたっては、意匠設計及び設備設計と調整を図り、経済性にも配慮し、設計条件や要求性能を満足させる構造体となるように計画する。
- 2) 敷地地盤の検討を十分行う。
- 3) 大地震に対して建物が持つべき所用の安全性を確保するため、構造体の耐震安全目標を満足させる。
- 4) 構造体は確実な応力伝達が行われるような構造要素及び接合形式により構成する。
- 5) 構造計算は構造設計の信頼性を確保するよう地盤特性、荷重条件等を適切に考慮して行う。

#### 2. 本計画建物の構造体の耐震安全目標及び保有すべき性能

##### 1) 重要度係数

$$I = 1.25 \text{ (Ⅱ類)}$$

##### 2) 耐震安全性の目標

大地震後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保と機能確保を図る。

##### 3) 保有すべき性能

大地震動に対して比較的小さな損傷に止まり、直ちに大きな補修を必要とするような耐力低下を招くことがないようにする。

##### 4) 地震時の変形制限

中地震時 層間変形角 1/200 以下 大地震時 層間変形角 1/100 以下

## 3. 上部構造

- 1) 長期荷重に対しては、部材の強度を確保すると共に、有害な変形及び振動障害を防止するために、部材の剛性を確保する。
- 2) 水平力に対する抵抗要素は、平面的、立面的に釣り合い良く、かつ十分に配置する事により地震時における安全性を確保する。
- 3) 構造体の変形が建築非構造部及び、建築設備の機能に支障を及ぼさないように設計する。
- 4) 部材配置、部材断面、接合方法等は、施工性、耐久性及び耐火性について十分な検討を行った上で決定する。

## 4. 基礎構造

- 1) 基礎構造は、敷地及び地盤の調査等に基づき、建築物の規模及び構造種別を十分に考慮して、地盤性状に応じたものとする。
- 2) 基礎の施工法は、敷地及び地盤条件に応じて選択し、騒音、振動等、敷地周辺に有害な影響を及ぼす事が無いようにする。
- 3) 基礎は、沈下等による障害を生じさせることなく上部構造を安全に支持し、かつ上部構造に対して耐力的及び経済的に均衡の取れたものとする。

## 5. 適用基準

- 建築基準法
- 建築基準法施行令
- 建築基準法関連告示
- 建築物の構造関係技術基準解説書（国土交通省等）2020年度版
- 官庁施設の基本的性能基準及び同解説（公共建築協会）平成18年度版
- 官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（公共建築協会）平成25年度版
- 建築構造設計基準（公共建築協会）平成30年度版
- 建築鉄骨設計基準及び同解説（公共建築協会）平成10年度版
- 鋼構造設計規準（日本建築学会）2005年度版
- 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説（日本建築学会）2018年度版

## 6. 使用材料

- 1) コンクリート  $F_c = 24 \text{ N/mm}^2$ （計画供用期間：標準[およそ65年]）
- 2) 鉄筋  
SD345（D19以上D25以下）  
SD295（D16以下）
- 3) 鉄骨  
SN400（大梁）  
SS400（小梁）  
BCR295（主柱）

## 7. 荷重及び外力

- 1) 地震荷重  
標準せん断力係数 一次設計 $C_0 = 0.2$   
二次設計 $C_0 = 1.0$   
地震地域係数  $Z = 1.0$   
重要度係数  $I = 1.25$ （Ⅱ類）
- 2) 風荷重  
基準風速 30m/sec  
地表面粗度区分 Ⅲ
- 3) 積雪荷重  
最深積雪量 95cm  
単位重量  $20\text{N/m}^2/\text{cm}$
- 4) 液状化検討  
設計用水平加速度  $2.0 \text{ m/s}^2$  「建築構造設計基準資料」による

## 2-3 杭工法比較表

工法	MFC-II工法(摩擦杭) プレボーリング根固め工法(α=150)	Hyper-MEGA工法(摩擦杭) プレボーリング拡大根固め工法(ω=1.0、α=330)	MAGNUM-BASIC工法(支持杭) プレボーリング拡大根固め工法(η=0、α=260)																																																									
説明図	<p>タイプA: 杭先端N値が10以上の場合(根固め液を使用する)</p>																																																											
工法概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用杭は節杭φ3045~6075</li> <li>杭先端支持力係数はα=150 ※N≦30、N&lt;5はN=0で計算。</li> <li>適用地盤は砂質、礫質、粘土質地盤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用杭は節杭φ3044~φ100120、ストレート杭φ300~φ1200</li> <li>杭先端支持力係数はα=300~ 地盤条件、施工条件により適宜設定。</li> <li>適用地盤は砂質、礫質、粘土質地盤</li> </ul> <table border="1"> <caption>ωとαの関係(一例)</caption> <tr> <th>ω</th> <td>1.0</td> <td>1.2</td> <td>1.4</td> <td>1.6</td> <td>1.8</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <th>α(砂・礫)</th> <td>330</td> <td>423</td> <td>523</td> <td>629</td> <td>741</td> <td>858</td> </tr> <tr> <th>α(粘土)</th> <td>300</td> <td>371</td> <td>445</td> <td>521</td> <td>599</td> <td>679</td> </tr> </table>	ω	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0	α(砂・礫)	330	423	523	629	741	858	α(粘土)	300	371	445	521	599	679	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用杭はストレート杭φ300~1200、拡張・ST杭</li> <li>杭先端支持力係数は杭下根固め部長さの設定により任意で設定できる(η=0~2.0)、α=200~350</li> <li>適用地盤は砂質、礫質、粘土質地盤(軟岩系岩盤を含む)</li> </ul> <table border="1"> <caption>ηとαの関係</caption> <tr> <th>η</th> <td>0</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.2~2.0</td> </tr> <tr> <th>α(砂・礫)</th> <td>200</td> <td>267</td> <td>335</td> <td>350</td> </tr> <tr> <th>α(粘土)</th> <td>260</td> <td>295</td> <td>330</td> <td>330</td> </tr> </table>	η	0	0.5	1.0	1.2~2.0	α(砂・礫)	200	267	335	350	α(粘土)	260	295	330	330																					
ω	1.0	1.2	1.4	1.6	1.8	2.0																																																						
α(砂・礫)	330	423	523	629	741	858																																																						
α(粘土)	300	371	445	521	599	679																																																						
η	0	0.5	1.0	1.2~2.0																																																								
α(砂・礫)	200	267	335	350																																																								
α(粘土)	260	295	330	330																																																								
杭月細	<table border="1"> <tr> <td>φ3045×12m(MF-C)</td> <td>40set</td> </tr> <tr> <td>φ3045×12m(PRCMF-I)</td> <td>49set</td> </tr> <tr> <td>φ4055×12m(MF-C)</td> <td>10set</td> </tr> <tr> <td>φ3045×12m(PRCMF-I)</td> <td>14set</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>113set(延べ1,356m)</td> </tr> </table>	φ3045×12m(MF-C)	40set	φ3045×12m(PRCMF-I)	49set	φ4055×12m(MF-C)	10set	φ3045×12m(PRCMF-I)	14set	計	113set(延べ1,356m)	<table border="1"> <tr> <td>φ3045×13m(MF-C)</td> <td>28set</td> </tr> <tr> <td>φ4560×13m(MF-B)</td> <td>6set</td> </tr> <tr> <td>φ3045×13m(MF-C)</td> <td>15set</td> </tr> <tr> <td>φ3550×13m(MF-C)</td> <td>10set</td> </tr> <tr> <td>φ4055×13m(MF-C)</td> <td>10set</td> </tr> <tr> <td>φ4560×13m(MF-C)</td> <td>17set</td> </tr> <tr> <td>φ3045×13m(5PRC-MF-I+8MF-A)</td> <td>14set</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>100set(1,300m)</td> </tr> </table>	φ3045×13m(MF-C)	28set	φ4560×13m(MF-B)	6set	φ3045×13m(MF-C)	15set	φ3550×13m(MF-C)	10set	φ4055×13m(MF-C)	10set	φ4560×13m(MF-C)	17set	φ3045×13m(5PRC-MF-I+8MF-A)	14set	計	100set(1,300m)	<table border="1"> <tr> <td>φ3045×18m(8CPRC-I+10MF-A)</td> <td>16set</td> </tr> <tr> <td>φ4560×18m(8CPRC-I+10MF-A)</td> <td>4set</td> </tr> <tr> <td>φ3045×18m(8CPRC-I+10MF-A)</td> <td>11set</td> </tr> <tr> <td>φ3550×18m(8CPRC-I+10MF-A)</td> <td>10set</td> </tr> <tr> <td>φ6075×18m(8CPRC-I+10MF-A)</td> <td>5set</td> </tr> <tr> <td>φ3045×18m(8CPRC-I+10MF-A)</td> <td>10set</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>56set(1,008m)</td> </tr> </table>	φ3045×18m(8CPRC-I+10MF-A)	16set	φ4560×18m(8CPRC-I+10MF-A)	4set	φ3045×18m(8CPRC-I+10MF-A)	11set	φ3550×18m(8CPRC-I+10MF-A)	10set	φ6075×18m(8CPRC-I+10MF-A)	5set	φ3045×18m(8CPRC-I+10MF-A)	10set	計	56set(1,008m)	<table border="1"> <tr> <td>φ300×22m(10CPRC-I+12PHC-A)</td> <td>18set</td> </tr> <tr> <td>φ350×22m(10CPRC-I+12PHC-A)</td> <td>6set</td> </tr> <tr> <td>φ300×22m(10CPRC-I+12PHC-A)</td> <td>11set</td> </tr> <tr> <td>φ350×22m(10CPRC-I+12PHC-A)</td> <td>10set</td> </tr> <tr> <td>φ450×22m(10CPRC-I+12PHC-A)</td> <td>10set</td> </tr> <tr> <td>φ300×22m(10CPRC-I+12PHC-A)</td> <td>6set</td> </tr> <tr> <td>φ350×22m(10CPRC-I+12PHC-A)</td> <td>4set</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>65set(1,430m)</td> </tr> </table>	φ300×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	18set	φ350×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	6set	φ300×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	11set	φ350×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	10set	φ450×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	10set	φ300×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	6set	φ350×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	4set	計	65set(1,430m)
φ3045×12m(MF-C)	40set																																																											
φ3045×12m(PRCMF-I)	49set																																																											
φ4055×12m(MF-C)	10set																																																											
φ3045×12m(PRCMF-I)	14set																																																											
計	113set(延べ1,356m)																																																											
φ3045×13m(MF-C)	28set																																																											
φ4560×13m(MF-B)	6set																																																											
φ3045×13m(MF-C)	15set																																																											
φ3550×13m(MF-C)	10set																																																											
φ4055×13m(MF-C)	10set																																																											
φ4560×13m(MF-C)	17set																																																											
φ3045×13m(5PRC-MF-I+8MF-A)	14set																																																											
計	100set(1,300m)																																																											
φ3045×18m(8CPRC-I+10MF-A)	16set																																																											
φ4560×18m(8CPRC-I+10MF-A)	4set																																																											
φ3045×18m(8CPRC-I+10MF-A)	11set																																																											
φ3550×18m(8CPRC-I+10MF-A)	10set																																																											
φ6075×18m(8CPRC-I+10MF-A)	5set																																																											
φ3045×18m(8CPRC-I+10MF-A)	10set																																																											
計	56set(1,008m)																																																											
φ300×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	18set																																																											
φ350×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	6set																																																											
φ300×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	11set																																																											
φ350×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	10set																																																											
φ450×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	10set																																																											
φ300×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	6set																																																											
φ350×22m(10CPRC-I+12PHC-A)	4set																																																											
計	65set(1,430m)																																																											
残土量	410m <sup>3</sup>	460m <sup>3</sup>	350m <sup>3</sup>	310m <sup>3</sup>																																																								
材料費	¥17,205,300	¥18,761,900	¥14,983,100	¥17,824,500																																																								
施工費	¥33,079,900	¥31,822,300	¥33,668,200	¥45,541,700																																																								
残土処分費	¥9,020,000	¥10,120,000	¥7,700,000	¥6,820,000																																																								
杭取処理費	NCPアカー¥3,770,260	NCPアカー¥3,338,265	1D埋込	パイカット+杭残材処分費 ¥1,694,460																																																								
施工日数	21日	23日	19日	29日																																																								
総工事費	¥63,075,460	¥64,042,465	¥56,351,300	¥71,880,660																																																								
施工性	<p>評価面</p> <p>最も施工性が良い。周辺の施工実績より通常装備での対応が可能と判断。</p>	○	<p>評価面</p> <p>転石300mm程度を見込み、ロックオーガによる施工、特殊ヘッド及び修理費を考慮し、施工可能と判断。支持層の掘削はしないので、施工性は比較的良い。</p>	○	<p>評価面</p> <p>支持層レベルに不陸がみられることや、掘削不能が想定されることから高止まりを前提として検討。掘削不能となり、支持層の確認ができる場合は杭頭カットに対応する。</p>	△																																																						
経済性	<p>評価面</p> <p>地盤構成により適宜支持力の低減が必要なため、1柱当たりの杭数量が増加する。</p>	△	<p>評価面</p> <p>杭を長くすることにより支持力の確保が可能となるため、杭数量が減り最も安くなる。</p>	○	<p>評価面</p> <p>支持層の掘削を1m程度する必要があることから、杭打機本体は608クラス使用、ロックオーガの使用となるため費用、及び日数が増加する。</p>	△																																																						
総合	<p>評価面</p> <p>施工上確実性が最も高いが、経済性がやや劣る。</p>	△	<p>評価面</p> <p>施工上確実性が高く、最も経済的であるため、最適の工法と考えられる。</p>	○	<p>評価面</p> <p>掘削不能等の不確定要素が多く施工性に不安がある。経済性も最も劣る。</p>	△																																																						

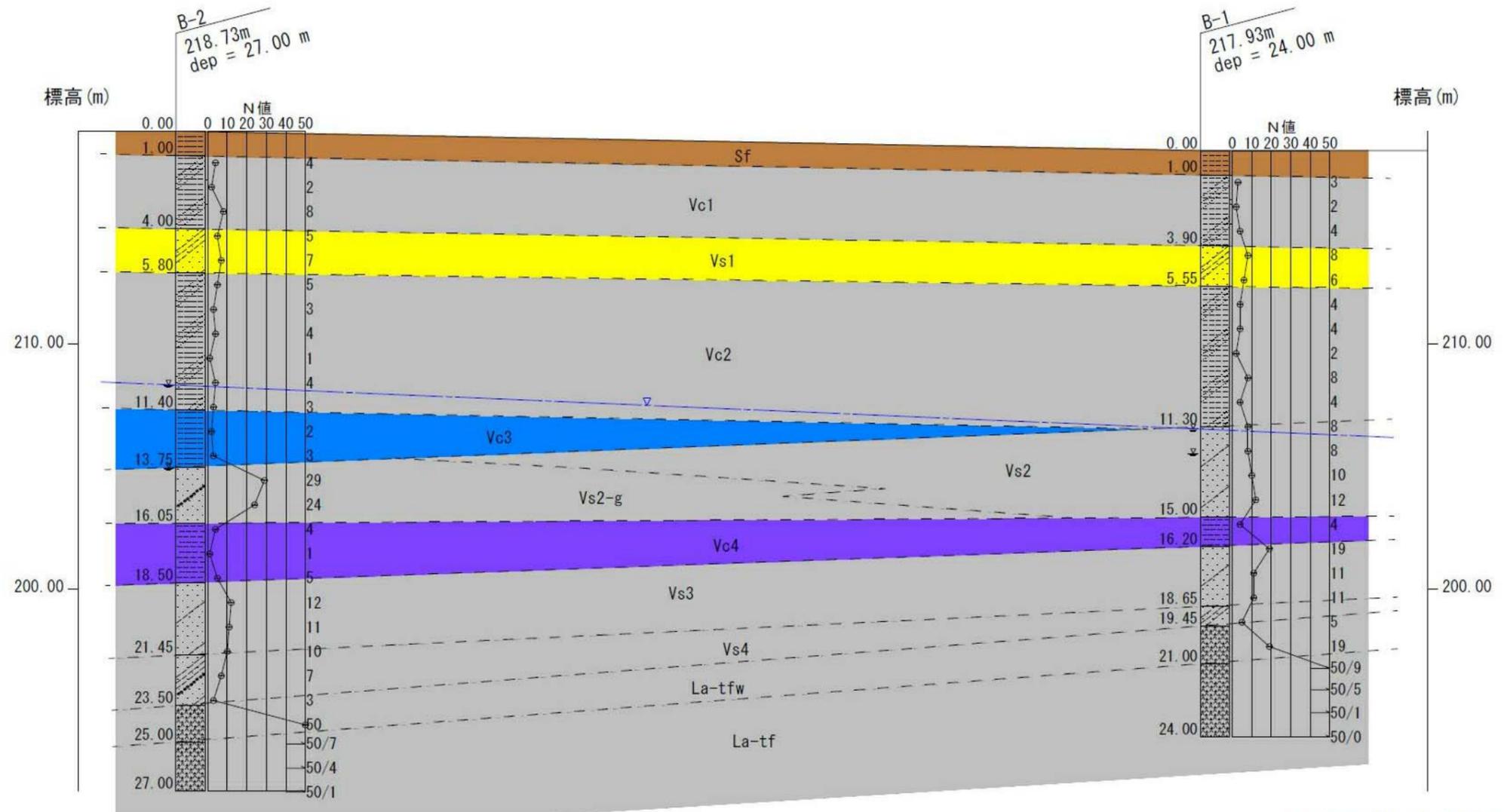
∴上記の3工法を総合的に評価し、Hyper-MEGA工法(摩擦杭)プレボーリング拡大根固め工法が最適であると判断する。



調査位置図 (S=1:1000)

凡例

地質時代	地層名	土質名・岩相	記号	実測N値
第四紀完新世	表土	有機物混リシルト	Sf	2
第四紀完新世 ～更新世	火山砕屑物	砂質シルト	Vc1	2～8
		シルト 質砂	Vs1	3～8
		砂質シルト	Vc2	1～17
		シルト	Vc3	2～3
		シルト 混リ砂	Vs2	8～12
		礫混リ砂	Vs2-g	24～29
		粘土	Vc4	1～5
		シルト 混リ砂	Vs3	10～19
第四紀更新世	火砕流堆積物	礫混リシルト 質砂	Vs4	3～9
		強風化火山礫凝灰岩	La-tfw	19～50
		火山礫凝灰岩	La-tf	≥50



地質断面図 (S=1:200)

## 3-1 電気設備計画

### 1. 電気設備工事種目

- |                   |                |
|-------------------|----------------|
| 1. 電灯設備工事         | 7. 構内情報通信網設備工事 |
| 1-1 電灯分岐設備工事      | 8. 構内交換設備工事    |
| 1-2 誘導灯設備工事       | 9. 拡声設備工事      |
| 1-3 非常照明設備工事      | 10. 誘導支援設備工事   |
| 2. 動力設備工事         | 11. テレビ受信設備工事  |
| 3. 電気自動車用充電設備工事   | 12. 監視カメラ設備工事  |
| 4. 電熱設備工事         | 13. 火災報知設備工事   |
| 5. 受変電設備工事        | 14. 構内配電線路工事   |
| 6. 発電設備工事         | 15. 構内通信線路工事   |
| 6-1 自家発電設備工事（原動機） |                |
| 6-2 太陽光発電設備工事     |                |

### 2. 電気設備基本方針

- (1) 省エネルギー・省資源を考慮した計画とする。
- (2) 維持管理の容易な設備システムとする。
- (3) 安全性・機能性・利便性の高い設備とし、ランニングコスト削減を前提に計画する。

### 3. 種目別計画

#### 3-1 電灯設備

- (1) 光源は効率・寿命・省エネルギーに優れたLED照明を採用する。
- (2) 省エネの観点から照明器具は、外光の取入れが期待できるレストランは昼光制御を、トイレは人感センサースイッチで点灯制御を行う。
- (3) レストラン、物産・産直、プレイルームの基準照度は500 lx、事務室、厨房は基準照度300 lxとし、他の室は基準照度200 lxとする。
- (4) 誘導灯・非常照明設備は消防法等関連法規、建築基準法の基準に適合した計画とする。

#### 3-2 動力設備工事

- (1) 施設各所に設置される動力電源機器に電源を供給する。配線はケーブルラック等を設置し、設備増設や配線更新に対応できる計画とする。

#### 3-3 電気自動車用充電設備工事

- (1) 駐車場部分に整備される電気自動車充電設備スペースに急速充電型の電気自動車充電設備の設置を計画する。  
充電設備は利用管理が容易なコイン式を採用し、充電設備には機器保護のための風雪除けの屋根を設置。

#### 3-4 電熱設備工事

- (1) 施設トイレ部分に冬期間の給排水管の凍結防止のための電気暖房設備を設置。
- (2) 施設の屋根からの雨水縦樋に凍結破損防止のためドレンヒーターを計画。

#### 3-5 受変電設備工事

- (1) 敷地内に引込柱を建柱し、業務用電力（6600V）を1回線で受電する。  
建物までの配線は地中埋設配管にて計画。受変電設備は施設北側のバックヤード面に計画。
- (2) 受変電設備は施設内電灯設備・動力設備・電気自動車充電設備などの必要な設備をまかなえる電気容量とする。

#### 3-6 発電設備工事

- (1) 消防法に基づいて設置される消防設備への電源供給のため非常用発電機を設置。
- (2) 非常用発電機は防災設備用電源のほかに、停電時の施設運用のために給排水設備の電源や建物の一部の電気供給を行う計画とする。
- (3) 施設の屋根部分または地上に基礎を構築して太陽光発電を設置する。  
太陽光発電パネルは10kWの電気容量で計画し、日中の施設各所の電気使用量の軽減を目的とする。

#### 3-7 構内情報通信網設備工事

- (1) 施設各所に電話・情報端末の設置に対応した配線網の計画を行う。

#### 3-8 構内交換設備工事

- (1) 施設内に設置する電話・情報端末などを構内の電話施設相互および一般公衆電話交換網とを接続する電話交換機を設置する。

#### 3-9 拡声設備工事

- (1) 施設事務室に放送アンプを設置し、施設各所に設置するスピーカーから呼出やBGMを放送する。

#### 3-10 誘導支援設備工事

- (1) 多目的WC等に利用者の体調不良等を付近の利用者や事務室の職員にしらせるためのトイレ呼出押し釦を設置。室の外部とブザー付き表示灯を事務室には表示盤を設置。

#### 3-11 テレビ受信設備工事

- (1) 施設の屋根または外壁にテレビアンテナを設置し、施設各所にテレビ端末を設けてテレビ視聴に対応する。

#### 3-12 監視カメラ設備工事

- (1) 施設各所に防犯用カメラを設置し、事務室内のモニター装置で映像を録画する。  
カメラの設置場所については内容を協議の上決定する。

#### 3-13 監視カメラ設備工事

- (1) 消防法等関連法規、関連条例などに基づき必要な消防設備を設置する。
- (2) 各必要箇所に自動火災報知設備の感知器を設置する。
- (3) 事務室内に所轄消防署へ火災通報ができる火災通報装置を設置する。

#### 3-14 構内配電線路設備工事

- (1) 施設各所に設置される電気設備機器への電源を供給のための配管配線を行う。  
配管配線は地中埋設配管配線とする。

#### 3-15 構内通信線路設備工事

- (1) 引込場所から施設までの通信用配線のために地中埋設配管にて管路を構築する。

## 4-1 機械設備計画

### 1. 機械設備工事種目

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1. 空調設備工事    | 6. 排水設備工事    |
| 2. 換気設備工事    | 6-1 屋内排水設備工事 |
| 3. 自動制御設備工事  | 6-2 屋外排水設備工事 |
| 4. 衛生器具設備工事  | 7. 給湯設備工事    |
| 5. 給水設備工事    | 8. 消火設備工事    |
| 5-1 屋内給水設備工事 | 9. ガス設備工事    |
| 5-2 屋外給水設備工事 |              |

### 2. 機械設備基本方針

- (1) 省エネルギー・省資源を考慮した計画とする。
- (2) 維持管理の容易な設備システムとする。
- (3) 経年に伴う配管劣化を抑制するため高寿命でリサイクル率の高い配管材種を用い、ライフサイクルコストを考慮した計画とする。
- (4) 安全性・機能性・利便性の高い設備とし、ランニングコスト削減を前提に計画する。

### 3. 種目別計画

#### 3-1 空調設備

- (1) 自然エネルギーである地中熱を有効利用でき、省エネ性と地球環境に優しい地中熱ヒートポンプを熱源とした空調システムとする。
- (2) 室内設定温湿度は夏28℃50%、冬22℃40%を目標とする。

#### 3-2 換気設備工事

- (1) 居室の換気設備は、シックハウス対策24時間換気を原則とし、外気負荷の増大とエネルギーロスを少なくするため全熱交換形換気扇による第1種換気方式とする。
- (2) 便所等は、排風機による第1種換気方式とし屋外へ直接排気とするが、排気風量分を外気処理空調機にて空調した空気を廊下に導入し、館内のエアバランスを図る計画とする。

#### 3-3 自動制御設備工事

- (1) エネルギー管理、安全管理、維持管理費の低減化につながる省エネ管理機能をもったシステム構成とする。
- (2) 制御内容は、地中熱ヒートポンプユニットを一元管理、ECO度、出力、温度、消費電力、プログラム運転、データロギング機能等。

#### 3-4 衛生器具設備工事

- (1) 衛生陶器は寒冷地仕様とする。
  - (2) トイレの衛生器具は、メンテナンス性・施工性を考慮した器具とする。
  - (3) 洋風大便器は節水型器具とし、温水洗浄機能付暖房便座とする。
  - (4) 小便器は、衛生保守と節水の面から自動洗浄用節水システム方式とし、床清掃を考慮して、壁掛型とする。
- #### 3-5 給水設備工事
- (1) 市給水本管より分岐給水して、敷地境界線付近に量水器を設置する。
  - (2) A棟は二層式受水槽ポンプ室付を設置し、B棟群は水道直圧方式とする。
  - (3) 給水方式は、A棟は加圧給水方式とし、B棟群は水道直圧方式とする。
  - (4) 加圧給水ポンプユニットは、推定末端圧一定インバーター制御とし、建物内設備へ供給する。
  - (5) 受水槽の材質は、耐久性・耐震性・維持管理を考慮して、ステンレス製とする。
  - (6) 水資源の節約、災害時の断水を考慮し雨水利用設備を設置する。
  - (7) 雨水利用設備は、雨水集水量、利用用途、建物の用途・特性、経済性を考慮する。

#### 3-6 排水設備工事

- (1) 建物内は汚水・雑用水の分流方式とし、屋外で合流し敷地内公設樹に放流する。
- (2) 厨房系統はグリストラップを設置する。

#### 3-7 給湯設備工事

- (1) 給湯設備は、原則として局所式で貯湯式電気湯沸し器とし、厨房はガス瞬間給湯器とする。
- (2) 便所等洗面器の給湯についても、使用量、利便性、安全性を考慮して貯湯式電気湯沸し器とする。

#### 3-8 消火設備工事

- (1) 消防法等関連法規、関連条例などにに基づき必要な消防設備を設置する。
- (2) 各必要箇所に消火器を設置する。
- (3) 消火水槽はポンプ室付とし、受水槽に隣接して設置する。
- (4) 消火水槽の材質は、耐久性・耐震性・維持管理を考慮して、ステンレス製とする。

#### 3-9 ガス設備工事（LPGガス）

- (1) ガスボンベ集合装置による、自然気化方式とする。

# 関係法令検討書

## ■建築基準法 1

項目	適用条項		審査項目	該当	要件	非該当時の根拠
	法	令				
敷地	19		衛生安全	○	敷地の衛生及び安全について適切な敷地とすること。雨水及び汚水を適切に処理するための施設があること。	
法22条	22		屋根不燃	-		対象区域外
	23		外壁	-		対象区域外
大規模建築物	21		構造制限	-	木造等で高さ13m以上、軒の高さ9m以上 →主要構造部を耐火構造とする	高さ13m未満、軒の高さ9m未満
				-	延床面積3,000㎡以上 →主要構造部を耐火構造とする or 3,000㎡以内に「壁等」で有効に区画する	延床面積3,000㎡未満
	25		大規模木造の外壁等	-	延べ面積 > 1,000㎡ →外壁及び軒裏で延焼のおそれのある部分を防火構造とする	木造部分は1,000㎡以下
	26	113	防火壁 1000㎡毎	-	延べ面積 > 1,000㎡ →防火壁によって1,000㎡以内に有効に区画する	木造部分（耐火、準耐火以外）は1,000㎡以下
特殊建築物	27	107～110	耐火建築物、準耐火建築物	-	別表1(イ)欄(4)項：3階以上 or 2階部分が500㎡以上 →耐火建築物とする	3階以上なし、2階部分が500㎡未満
居室	28	19～20の3	採光	-	政令で定める居室には、採光のための窓その他の開口部を設ける	該当する居室なし
			換気	○	換気：居室面積の1/20以上	
	28の2	20の4～5	シックハウス	○	換気設備についてのホルムアルデヒドに関する技術的基準 →換気回数：住宅以外の居室 0.3回	
	29	22の2	地階の居室（住宅、病院、学校）	-	住宅の居室、学校の教室等の居室で地階に設けるものは、壁及び床の防湿の措置をする	該当する居室なし
	35の3	111	無窓の居室等の主要構造部	(○)	無窓の居室 →その居室を区画する主要構造部を耐火構造とし、または不燃材料で造らなければならない	
	36	21	天井高さ	○	居室の天井の高さは2.1m以上とする	
	36	22	床の高さ	-	最下階の居室の床が木造 →45cm以上、換気孔 or 床下をコンクリートで覆う	最下階の床をコンクリートとする
遮音	30	22の3	長屋、共同住宅の界壁	-	長屋、共同住宅の界壁は、遮音性能を有するものとする	用途対象外
階段	35	120	直通階段	○	無窓居室、(イ)欄(4)項の用途に供する居室 →歩行距離30m以下となるように直通階段を設ける	
		121	2以上の直通階段	-	121条各号（一～六）の階 →避難階又は地上に通ずる2以上の直通階段を設ける	一、三～五号：用途対象外 二号：物品販売店≦1,500㎡ 六号：2階の床面積≦200㎡
	36	23～26	階段（寸法、踊場、手摺）、傾斜路	○	(2)物販>1,500㎡の階段 →幅140cm以上、蹴上げ18cm以下、踏面26cm以上 →踊場（踏幅1.2m以上）を設ける (3)居室の床面積の合計>200㎡ →幅120cm以上、蹴上げ20cm以下、踏面24cm以上 (1)～(3)以外の階段 →幅75cm以上、蹴上げ22cm以下、踏面21cm以上 屋外階段（120条の直通階段） →幅90cm以上 両側に手すりを設ける 傾斜路の勾配は、1/8をこえない	
				-	5階以上の階又は地下2階以下の階 →避難階又は特別避難階とする	該当する階なし
	122,123	避難、特別避難階段	-	物品販売店舗の避難階段 →出入口の幅を既定の数値以上とする	避難階段なし	
廊下	35	119	廊下の幅	○	居室の床面積の合計が200㎡を超える階の廊下（3室以下の専用ものを除く） →両側居室≧1.6m、その他の廊下≧1.2m	
出口	35	118	客席からの出口の戸	-	客席からの出口の戸 →外開き	客席なし
		125	屋外への出口	○	階段から屋外への出口（(イ)欄(4)項） →30m以下 居室から屋外への出口（(イ)欄(4)項） →60m以下 物品販売店の屋外への出口の幅の合計 →床面積が最大の階における床面積100㎡につき60cmの割合で計算した数値以上とする	
				○	既定の出口に設ける戸の施錠装置 →屋内からかぎを用いることなく解錠でき、かつ解錠方法を表示する	
		126	手摺、屋上広場	○	屋上広場、2階以上の階にあるバルコニー等 →高さが1.1m以上の手すり壁、さく又は金網を設ける	
敷地内通路	35	128、128の2	敷地内通路、渡り廊下	○	屋外への出口から道又は公園等 →敷地内通路幅 ≧1.5m	

■建築基準法2

項目	適用条項		審査項目	該当	要件	非該当時の根拠
	法	令				
防火区画	36	112	防火区画（面積）	(○)	耐火建築物、任意準耐火 →1,500㎡以内に防火区画	
			防火区画（高層）	-	11階以上で100㎡を超える →100㎡以内に防火区画	該当する階なし
			防火区画（竪穴）	-	地階又は3階以上 →竪穴部分とその他の部分とを防火区画	竪穴部分無し
			防火区画（異種用途）	-	法別表1(ろ)欄に掲げる階を(い)欄の用途に供する →当該用途とその他の部分を防火区画	法別表1に記載の用途なし
	30	114	界壁	-	長屋又は共同住宅の各戸の界壁は小屋裏又は天井裏に達せしめなければならない	用途対象外
			防火上主要な間仕切壁	-	学校、病院、診療所、児童福祉施設等、ホテル、旅館、下宿、寄宿舎、マーケット →防火上主要な間仕切壁を準耐火	用途対象外
			隔壁	(○)	建築面積>300㎡で小屋組が木造 →強化天井 or 桁行間隔12m以内ごとに隔壁を設ける	
内装	35の2	128の4、129	特殊建築物、火気使用室等の内装	○	物品販売店・飲食店 耐火3階以上≧1,000㎡、その他≧200㎡ →壁及び天井を難燃材料（居室）、準不燃材料（通路等） 大規模建築物 階数2で延べ面積>1,000㎡ →壁及び天井を難燃材料（居室）、準不燃材料（通路等） 火気使用室 →壁及び天井を難燃材料（居室）、準不燃材料（通路等）	
非常用進入口	35	126の6、126の7	非常用進入口、進入路、代替進入口	-	3階以上の階 →非常用進入口の設置	該当する階なし
総合的設計	86		総合的設計による一団地	-		総合的設計の対象外
仮設建築物	85	147	仮設建築物	-		仮設建築物なし
構造	20		構造方法	○	鉄骨造、木造 建築物の2以上の部分がエキスパンションジョイント等で接している場合、それぞれ（構造計算上）別の建築物とみなす	
換気設備	28、 28の2、 36		火気使用室（自然・機械） 特建の居室（機械・空調） 一般の居室（自然・機械・空調） 防火ダンパー、防火区画貫通等 シックハウス	○	(2項) 居室床面積の1/20以上の換気に有効な開口が確保されない場合、機械換気設備が必要 (3項) 火気使用室は機械換気設備が必要 (28の2) 換気回数0.3回以上の換気設備の設置(24時間換気)	
便所	31、36		処理区域内、換気（窓・換気設備）	○	公共下水処理区域内。	
避雷設備	33、36		直接法・簡略法	-	規制値 建築物の高さ20mを超える場合	建築物の高さ≦20m
昇降機	34、36	129の3～13	ピット深さ、頂部すき間、機械室、階段	-	規制値 建築物の高さ31mを超える場合	建築物の高さ≦31m
		129の13の2・3	非常用昇降機	-	規制値 建築物の高さ31mを超える場合	建築物の高さ≦31m
排煙設備	35	116の2 126の2・3	無窓居室 自然排煙・機械排煙	○	規制値 物品販売店舗等 延べ面積 > 500㎡ →排煙設備を設ける 開口部を有しない居室又は延べ面積が1,000㎡を超える建築物の居室で200㎡を超えるもの →排煙設備を設ける	
非常用照明	35	126の4・5	電池内蔵・別置	○	直接照明、予備電源 火災時に自動点灯 床面において1lx以上（LEDの場合2lx以上）の照度を確保。	
給排水設備	36	129の2の4、112～114	直圧・受水槽、高架水槽、防火区画貫通等	○	腐食のおそれのある部分には腐食防止措置。飲料水の配管設備はその他の配管設備と直接連結させないこと。等	
工作物	88	138		-		工作物なし

## ■ 消防法

項目	消防法		要件 (非該当時の根拠)
	該当		
防火管理者	消令1条の2	○	収容人員 ≧ 30人 より該当
防火対象物の指定	消令6条	○	主要用途：16項イ（(4項)物品販売業を営む店舗+公衆便所） ※「物品販売業を営む店舗」と「飲食店」は管理者や営業時間が同一のため単体用途と見なす
消火器	消令10条	○	延べ面積 ≧ 150㎡ より該当
屋内消火栓	消令11条	○	延べ面積 ≧ 700㎡ より該当（準耐火≧1,400㎡、耐火≧2,100㎡） ※耐火建築物とした場合非該当
スプリンクラー設備	消令12条	-	延べ面積 < 3,000㎡ より対象外
屋外消火栓	消令19条	-	延べ面積 < 3,000㎡ より対象外
動力消防ポンプ	消令20条	-	屋内消火栓設置の場合対象外
自動火災報知設備	消令21条	○	延べ面積 ≧ 300㎡ より該当
ガス漏れ火災報知設備	消令21条の2	-	地階・無窓階 < 1,000㎡ より対象外
漏電火災報知設備	消令22条	-	ラスモルタルでないため対象外
消防通報火災報知設備	消令23条	○	延べ面積 ≧ 500㎡ より該当
非常警報設備	消令24条	○	収容人員 ≧ 50人 より該当。非常ベル、自動式サイレン又は放送設備
避難器具	消令25条	-	2階建てのため対象外
誘導灯・誘導標識	消令26条	○	主要用途：16項イ(複合用途) より該当。
消防用水	消令27条	-	敷地面積 ≧ 20,000㎡、延べ面積 ≧ 5,000㎡ より対象外
連結散水設備	消令28条の2	-	地階床面積 ≧ 700㎡ より対象外
連結送水管	消令29条	-	階数 ≧ 7、階数 ≧ 5階かつ、延べ面積 ≧ 6,000㎡ より対象外
非常用コンセント設備	消令29条の2	-	階数 ≧ 11 より対象外
無線通信補助設備	消令29条の3	-	主要用途：16項イ(複合用途) より対象外

■盛岡市景観計画

景観計画区域の区分、構成ゾーンは以下の通りとする。

- 景観形成地域 : 田園・丘陵景観地域 (大規模建築物※)
- 景観形成重点地域 : 玉山重要眺望地点 (⑦渋民公園から岩手山・姫神山眺望領域)

※大規模建築物とは地上3階以上の建築物、高さ10メートルを超える建築物又は延べ面積が3,000平方メートルを超える建築物 (本計画では「高さ10メートルを超える建築物」に該当)

■建築物の意匠に関する基準 (右表より抜粋)

- ・屋根の形態は3/10以上の勾配屋根とし、軒の出は60cm以上、ケラバの出は30cm以上
- ・屋根の意匠は、寄棟、入母屋、切妻等の和風の意匠に配慮すること。
- ・屋根及び外壁の基調となる色彩は、避けるべき色彩を使用しないこと。
- ・屋根及び外壁は、自然素材を利用するか、無彩色あるいは自然景観と調和する色彩にすること。
- ・屋上又は屋根上に設置する建築設備等の機器類は、周囲から見て露出しないように遮蔽修景を行うこと。

施設全体を出来るだけ低層に抑えた計画



落ち着いた色調の屋根・外壁

正面図 1:600

Ⅲ-2-2 良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項  
景観形成地域：田園・丘陵景観地域 (大規模建築物)

基本方針	田園や丘陵に立地する公共施設や工場など大規模建築物は周囲への景観の影響も大きいため、景観形成に対する配慮事項をきめ細かく設定することにより、施設の立地が地域景観の向上に寄与し、のびやかで美しい周辺の自然と調和した佇まいとなるような景観の形成を目指す。
届出対象行為	Ⅲ-9 届出対象行為及び特定届出対象行為の別表による。
指針 位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物全体として、まとまりのある形態及び意匠とし、周辺の景観との調和に配慮すること。</li> <li>・道路の角地に位置する敷地において建築物を建築する場合は、出来る限り建築物の配置や壁面を角地から後退させるか又は建築物の壁面に入隅を設ける等、角地のゆとりで配慮すること。</li> <li>・寺社等歴史的な建築物、樹木等の地域の景観資産が周辺にあるときは、歴史的・文化的景観を損なわないよう適正な距離関係を保った配置とすること。</li> <li>・冬期間の景観に配慮し、屋根からの落雪及び雪寄せに対処した配置とすること。</li> <li>・敷地内の庭については、公衆からも望見される公共的な役割を担った植栽等の配置に留意すること。</li> <li>・建築物等の配置は敷地境界線から出来る限り後退し、ゆとりのある景観に配慮すること。</li> <li>・道路等の公共空間に面する部分については、歩行者等に対する圧迫感、威圧感を緩和するよう建築物・工作物の位置及び規模に配慮すること。</li> </ul>
高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山陵や丘陵地を背景とする地域においては、後続の眺望を保全するよう建築物・工作物の位置及び規模に配慮すること。</li> <li>・建築物の高さは、周囲の自然景観を阻害しないよう、出来る限り低層に抑えること。</li> </ul>
形態・意匠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の意匠については、公衆から望見される前面道路からの正面性に配慮するとともに、周りから見たときの景観にも配慮すること。</li> <li>・店舗などにあっては、道路に面する部分にオープンスペースを設けるなど、歩行者に快適な景観形成に配慮すること。また、開店時のシャッターの意匠についても留意すること。</li> <li>・敷地境界部に門や塀等を設ける場合は、過度に閉鎖的な印象を与えないよう考慮すること。</li> <li>・倉庫や車庫等の付属屋を計画する場合は、母屋と同様に景観的な配慮を行うこと。</li> <li>・道路の突き当りの敷地等、アイストップとなるような建築物にあってはアイストップとなることに留意した意匠とすること。</li> <li>・敷地の外周面に対して、閉鎖感や圧迫感を与えるような単調な大面積の壁面を避け、窓の配置等により壁面構成を工夫すること。</li> <li>・建築物の1、2階については開放的な形態意匠とし、結核を施す等、周辺の道路から見たときの圧迫感に対する緩和策に配慮すること。</li> </ul> <p style="text-align: center;">玉山重要眺望地点から岩手山・姫神山眺望景観保全地</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視点からの眺望景観保全領域内において、特に催遊泉やパノラマ景観となる位置では視点からの山容に配慮し、全体の景観構成に調和した外観意匠とすること。</li> <li>・自然景観へのやさらかさに配慮し、屋根の形態は、3/10以上の勾配屋根とし、軒の出は60cm以上、ケラバの出は30cm以上とすること。また、塔屋を設置する場合は、塔屋も勾配屋根とすること。(※1)</li> <li>・屋根の意匠は、寄棟、入母屋、切妻等の和風の意匠に配慮すること。</li> </ul>
色彩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の色彩は、周辺の環境と調和した落ち着いた色調とすること。</li> </ul>
素材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建築物の外壁や工作物の外装に使用する素材は、経年変化による質の低下の少ない耐久性のあるものを用い、周辺の景観と調和するよう配慮すること。</li> <li>・境界部のかき又はさくについては、生け垣、板塀又は竹垣等により、やさらかさに配慮すること。</li> <li>・建築物の外壁や屋根は、周りの自然に溶け込ませるような素材や意匠とすること。</li> <li>・自然との調和を基本とし、反射する素材等、過度に目立つものを避けること。</li> </ul>
指針 緑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内は出来る限り緑化し、樹液又は樹勢の衰えた既存の樹木がある場合には保存又は移植により、修景に活用するよう配慮すること。</li> <li>・前面植栽等により、道路境界部を視覚的にやさらかくすること。</li> <li>・駐車場及び自動車庫の敷地の外周については、交通の安全や防犯に配慮するよう緑化に努めること。</li> <li>・植栽又は生け垣等により、敷地内空地の10%以上の緑被率を確保するよう努めること。</li> <li>・公共的施設や商業施設等では、緑に囲まれたような景観を形成するため、道路沿いや建築物前面、駐車場のオープンスペース等に植栽をすること。</li> <li>・工場等では、緑に囲まれた景観を形成するため、緩衝的な植栽をすること。</li> <li>・全体としてゆとりと潤いを形成するために植栽等の工夫をすること。</li> </ul>
建築設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路に面したバルコニーや屋上等にクーラーの室外機や給湯器等を設ける場合は、露出しないように柵等により遮蔽修景を行うこと。</li> <li>・周辺から見た時に雑然とした印象を与えないよう屋上美化に努め、屋上のスカイラインの調和に配慮すること。</li> </ul>
屋外広告物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋外広告物は出来る限り設置しないこと。設置する場合においても、その規模は最小限とし、位置、形態、意匠、色彩及び素材については、敷地内の建築物、工作物及び周辺の景観と調和したものとする。</li> <li>・星空を考慮し、屋外広告物等の照明は出来る限り下に向け、低い色温度とすること。</li> <li>・ネオン・サイン、イルミネーション等大容量光源(サーチライト)で発光する屋外広告物は、極力避け、星空を考慮し、照明は出来るだけ下に向け、低い色温度とすること。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみや不要物の置場は目立たない位置とするか目隠しを施す等の配慮をすること。</li> <li>・近傍に景観資産がある場合は、建築物との間にゆとりを保ち、景観資産の価値を引き立てるような景観的配慮をすること。</li> <li>・建築物等は維持管理を行いやすい配置や形態意匠に留意すること。</li> <li>・物干し場等、私的な空間を直接公共空間へ露出させない工夫をすること。</li> <li>・建築物・工作物の撤去後の跡地は、周辺の景観と不調和が生じないよう配慮すること。</li> <li>・出来る限り地形の改変を避けること。やむを得ず造成を行う場合は、法面は緑化等により保護すること。また、擁壁等を計画する場合は、自然素材若しくは自然的な素材感のある素材を使用するよう配慮すること。</li> </ul>
勧告基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋根及び外壁の基調となる色彩は、避けるべき色彩を使用しないこと。</li> <li>・屋根及び外壁は、自然素材を利用するか、無彩色あるいは自然景観と調和する色彩にすること。</li> </ul>
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・※1 軒の出、ケラバの出は外壁面からの寸法を示す。</li> <li>・※景観形成重点地域が重なる区域については、上記基準に各形成重点地域の基準を付加する。</li> </ul>

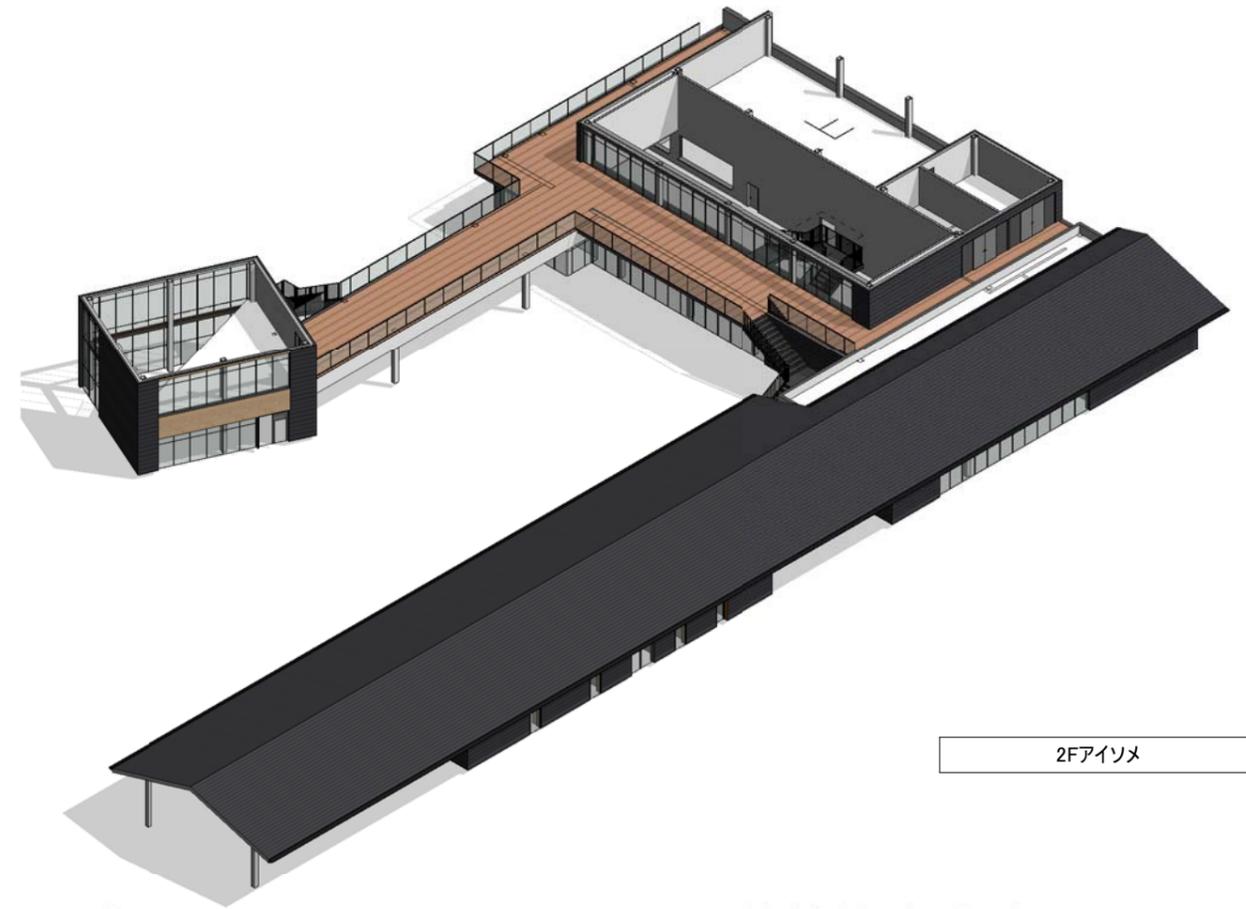
盛岡市道の駅建設工事 概略工事工程表（案）

工事工期14ヵ月

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
仮設工事	準備、仮設工事（仮囲い、現場事務所等）																				
基礎工事		杭工事	土工・基礎工事																		
躯体工事						鉄骨建方	スラブ等														
外装工事							屋根工事	外壁	軒天		デッキ										
内装工事								建具、内装下地、内装仕上													
電気設備工事					基礎スリーブ、埋設配管								試運転・調整								
機械設備工事					基礎スリーブ、埋設配管								試運転・調整								
外構工事												設備基礎、舗装									
検査関係														各検査	引き渡し						
														手直し							
その他																開所準備					



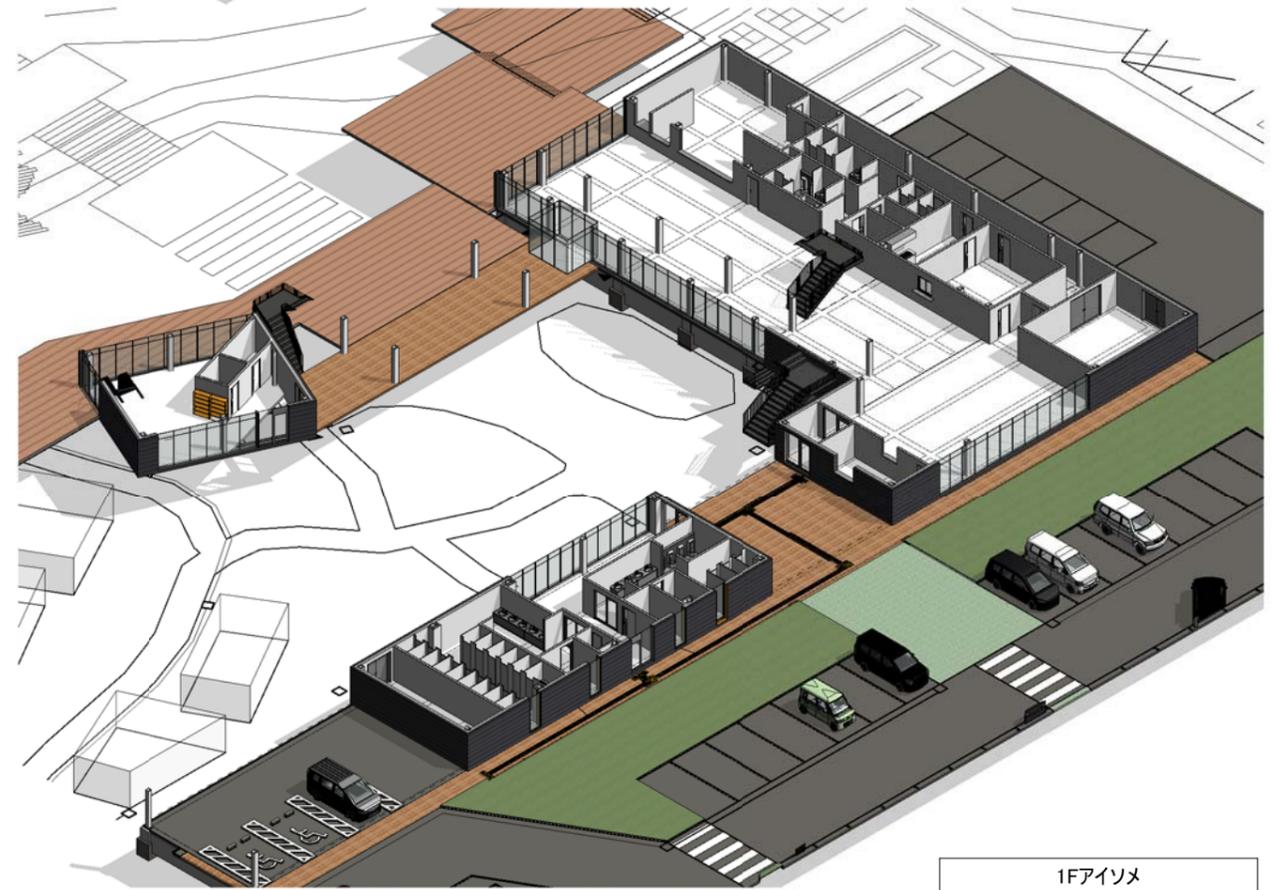
ポーチ



2Fアイソメ

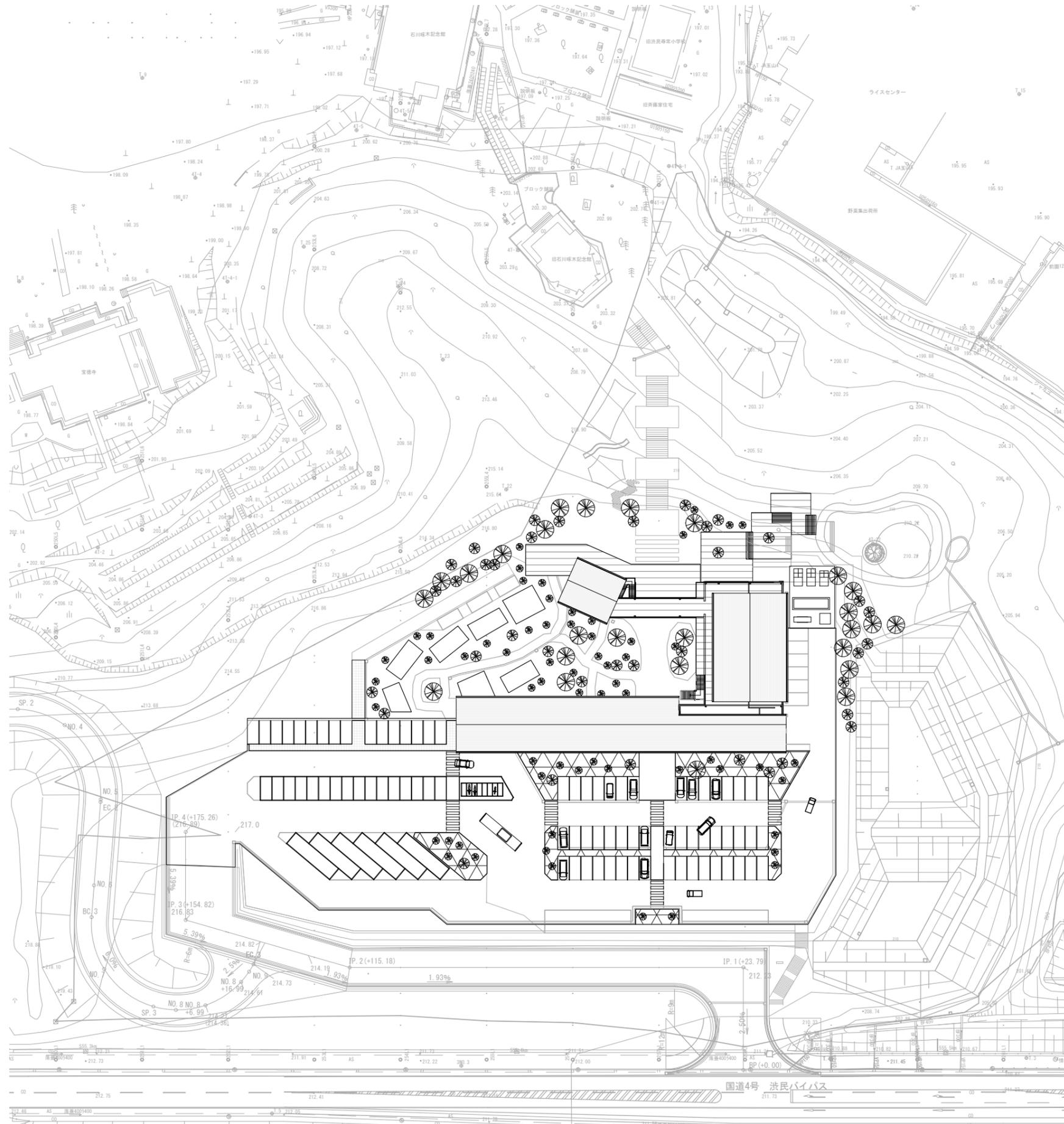


国道から

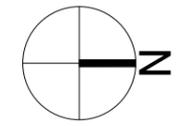


1Fアイソメ



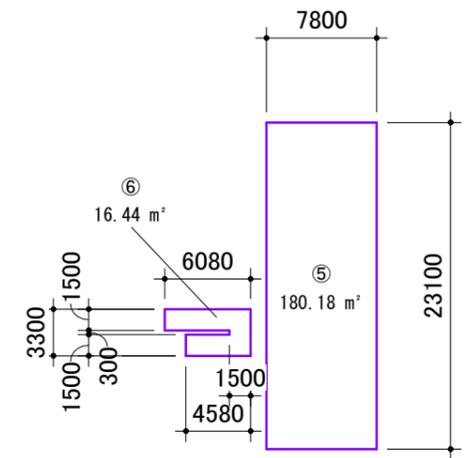
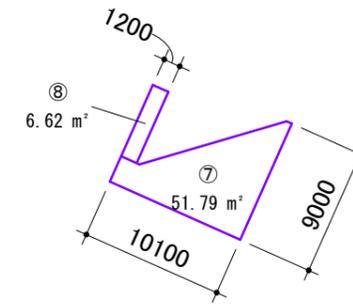


- 敷地条件
- 地名地番 : 盛岡市洪民字洪民地内 (国道4号洪民バイパス沿い)
- 都市計画区域 : 都市計画区域 (市街化調整区域)
- 用途地域 : 指定なし
- 防火地域 : 指定なし
- 法第22条区域 : 指定なし
- 道路 : 国道4号 (42条1項1号)
- 道路幅員 : 10m (東側)
- 敷地面積 : 30,217㎡
- 容積率 : 200%
- 建ぺい率 : 70%
- 道路斜線 : 指定なし
- 隣地斜線 : 水平距離20m、勾配2.5
- 北側斜線 : 指定なし
- 日影規制 : 指定なし
- 高度地区 : 指定なし
  
- 建築概要
- 建築面積 : 1,535.07㎡
- 延べ床面積 : 1,541.56㎡
- 主要用途 : 物品販売業を営む店舗 (08440)、飲食店 (08450)、公衆便所 (08310)
- 工事種別 : 新築
- 申請に係る建築物の数 : 1

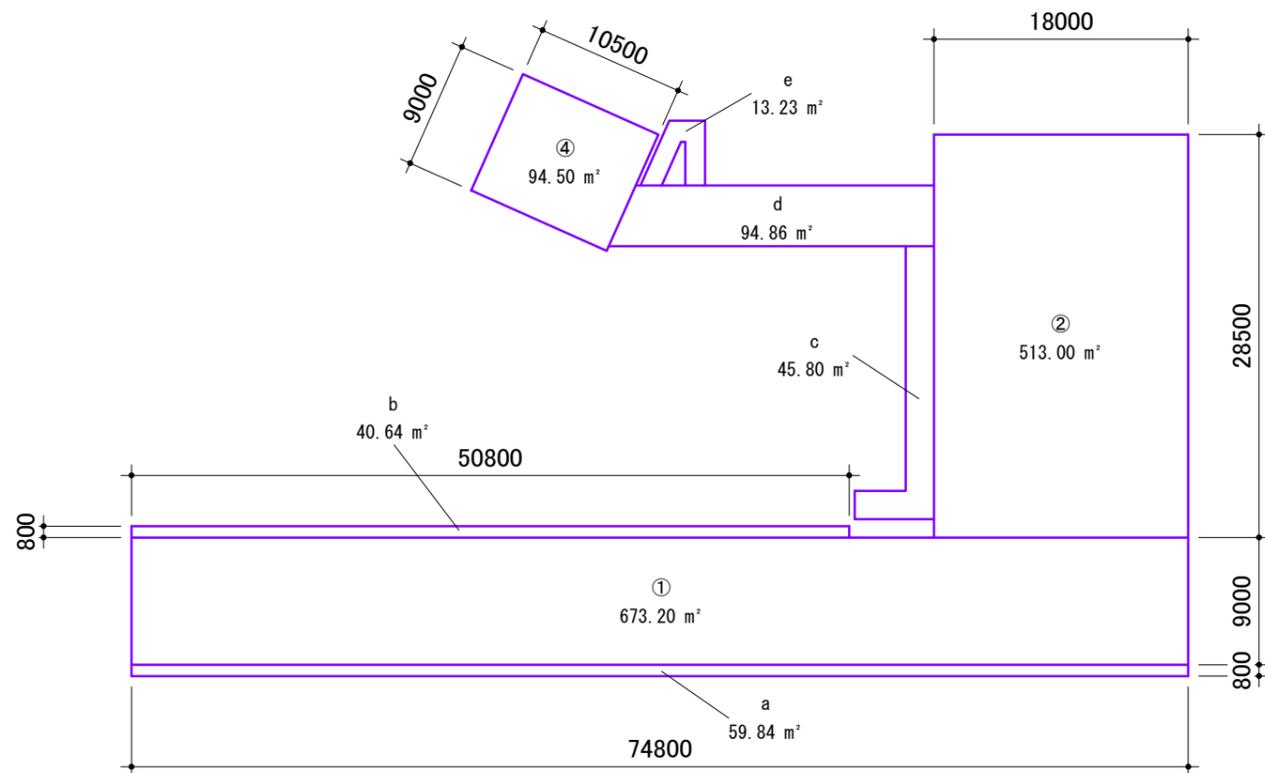


名前	面積
a	59.84 m <sup>2</sup>
b	40.64 m <sup>2</sup>
c	45.80 m <sup>2</sup>
d	94.86 m <sup>2</sup>
e	13.23 m <sup>2</sup>
①	673.20 m <sup>2</sup>
②	513.00 m <sup>2</sup>
④	94.50 m <sup>2</sup>
	1535.07 m <sup>2</sup>

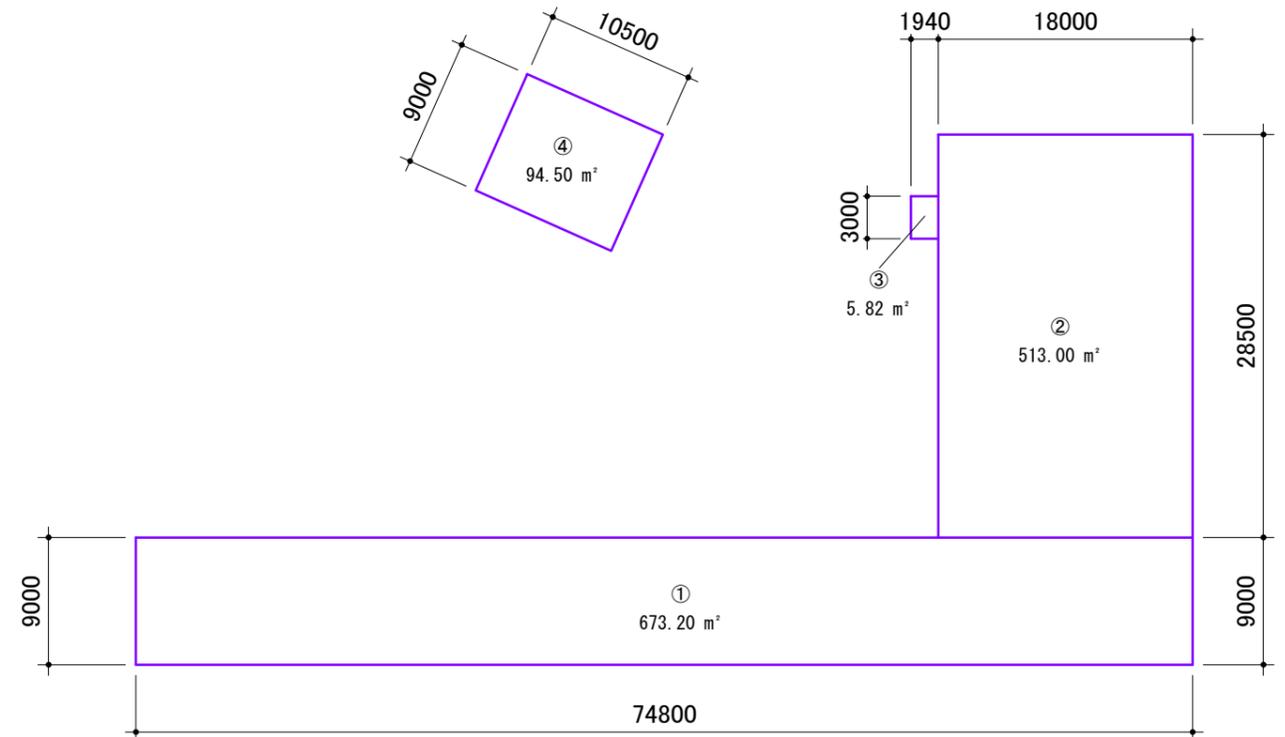
名前	面積
レベル 1	
④	94.50 m <sup>2</sup>
③	5.82 m <sup>2</sup>
②	513.00 m <sup>2</sup>
①	673.20 m <sup>2</sup>
	1286.52 m <sup>2</sup>
レベル 2	
⑦	51.79 m <sup>2</sup>
⑧	6.62 m <sup>2</sup>
⑥	16.44 m <sup>2</sup>
⑤	180.18 m <sup>2</sup>
	255.04 m <sup>2</sup>
	1541.56 m <sup>2</sup>



2F床面積求積図



建築面積求積図



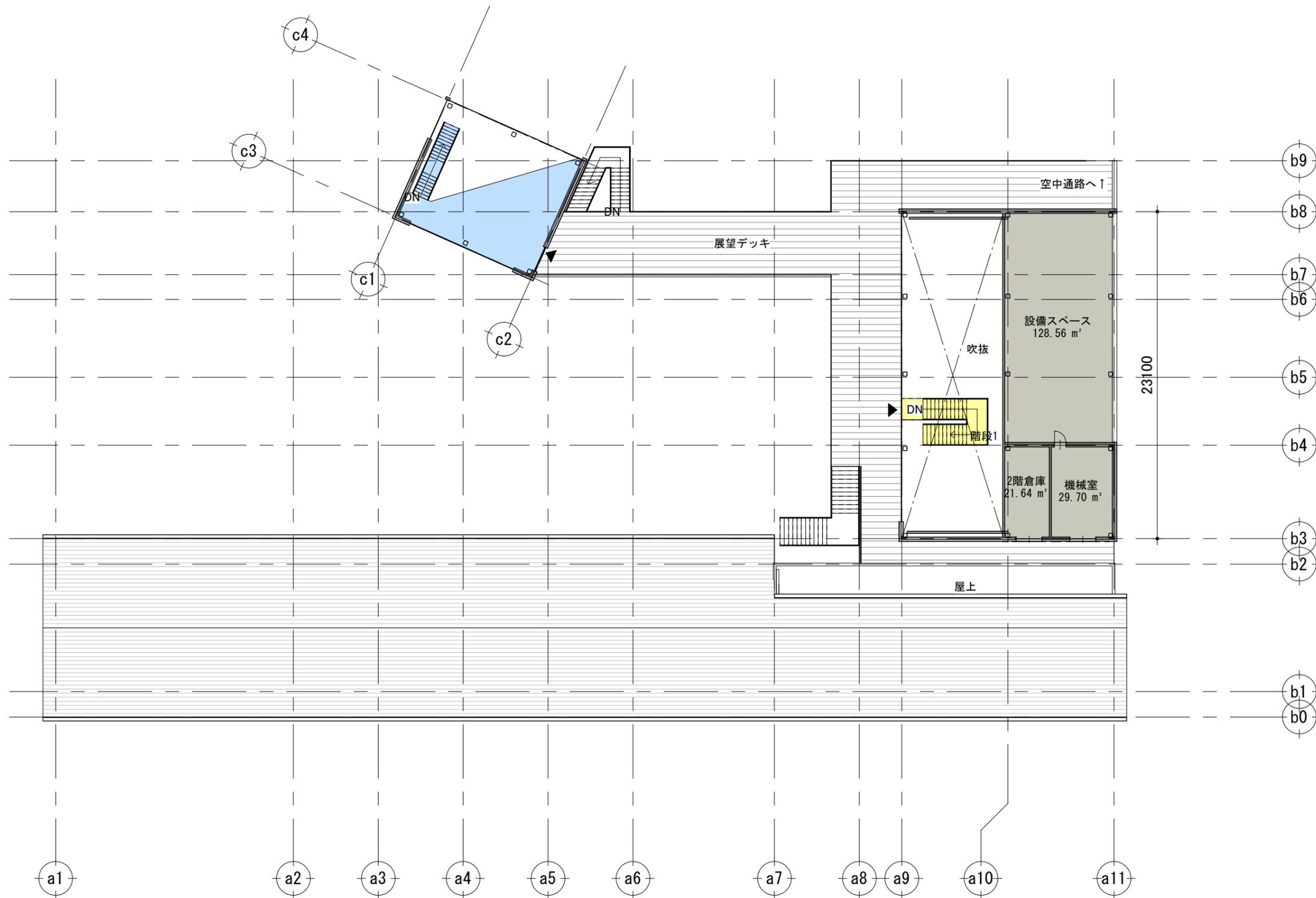
1F床面積求積図

内部仕上表											
部屋名称	面積	居室	火気使用室	給排水	床仕上	幅木	壁仕上	廻縁	天井仕上	天井高さ	備考
<b>A1. 休憩機能</b>											
情報提供	56.32 m <sup>2</sup>	○			コンクリート下地 土足対応フローリング	木製 H=60	下地合板+シナ合板t5.5目透貼 自然保護塗装	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.700	
男子トイレ	39.60 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	手洗いカウンター、化粧鏡、小便器用手摺、汚垂石、ライニングカウンター(小便器)
ベビーコーナー1	6.00 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	おむつ交換台
女子トイレ	70.03 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	手洗いカウンター、化粧鏡
ベビーコーナー2	6.84 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	おむつ交換台
多機能WC	6.60 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	ベビーシート、フィッティングボード、オストメイト対応トイレパック
SK2	3.60 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	モップハンガー、枕棚
<b>A2. 地域連携機能</b>											
レストラン	203.38 m <sup>2</sup>	○		○	コンクリート下地 土足対応フローリング	木製 H=60	下地合板+シナ合板t5.5目透貼 自然保護塗装	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.700 一部6.500	
厨房	64.29 m <sup>2</sup>	○	○	○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (厨房用)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	珪酸カルシウム板t6.0+EP塗り	2.700	厨房設備一式、排水溝グレーチング蓋、ライニングカウンター(手洗い)配膳カウンター、返却カウンター
食品庫	9.66 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 長尺ビニル床シート (厨房用)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	珪酸カルシウム板t6.0+EP塗り	2.700	プレハブ冷蔵庫・冷凍庫
軽食販売	18.00 m <sup>2</sup>	○	○	○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	珪酸カルシウム板t6.0+EP塗り	2.700	厨房設備、ライニングカウンター(手洗い)
物産・産直	210.48 m <sup>2</sup>	○			コンクリート下地 土足対応フローリング	木製 H=60	下地合板+シナ合板t5.5目透貼 自然保護塗装	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.700 一部6.500	
風除室1	9.00 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 土足対応フローリング	木製 H=60	下地合板+シナ合板t5.5目透貼 自然保護塗装	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.700	視覚障害者誘導板(喚起、誘導)
検収室	5.04 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 長尺ビニル床シート (厨房用)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	珪酸カルシウム板t6.0+EP塗り	2.700	
風除室2	7.20 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 土足対応フローリング	木製 H=60	下地合板+シナ合板t5.5目透貼 自然保護塗装	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.700	
<b>A3. 管理機能</b>											
事務室	36.00 m <sup>2</sup>	○			コンクリート下地 長尺ビニル床シート	ソフト幅木 H=60	石膏ボードt12.5 ビニルクロス	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	受付カウンター
休憩	18.00 m <sup>2</sup>	○		○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート	ソフト幅木 H=60	石膏ボードt12.5 ビニルクロス	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	ミニキッチン
倉庫	46.80 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 長尺ビニル床シート	ソフト幅木 H=300	石膏ボードt12.5 ビニルクロス	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	木製棚
通路1	47.46 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 長尺ビニル床シート	ソフト幅木 H=300	石膏ボードt12.5 ビニルクロス	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	
WC1	3.60 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	ライニングカウンター(手洗い)、化粧鏡
WC2	3.60 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	ライニングカウンター(手洗い)、化粧鏡
SK1	4.20 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	モップハンガー、物置棚、ライニングカウンター(掃除流し)
倉庫・休憩	27.00 m <sup>2</sup>	○			コンクリート下地 防塵塗床	ソフト幅木 H=300	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	
設備スペース	128.56 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 シート防水		外壁仕上による		外部軒天による		コンクリート基礎
2階倉庫	21.64 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 防塵塗床	ソフト幅木 H=300					
機械室	29.70 m <sup>2</sup>										
<b>A4. 共用部</b>											
MWC	14.85 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	手洗いカウンター、化粧鏡、小便器用手摺、汚垂石、ライニングカウンター(小便器)
WWC	14.85 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	手洗いカウンター、化粧鏡
HWC	6.60 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 長尺ビニル床シート (抗菌・消臭)	床材立上 H=200	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	化粧石膏ボードt9.5	2.500	ベビーシート、フィッティングボード、オストメイト対応トイレパック
通路3	10.80 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 土足対応フローリング	木製 H=60	下地合板+シナ合板t5.5目透貼 自然保護塗装	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.700	
階段1	16.44 m <sup>2</sup>				モルタル下地 土足対応フローリング						
PS	0.75 m <sup>2</sup>										
<b>B1. 子育て支援</b>											
土間	10.56 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 磁器質タイル	床材立上 H=200		塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.700	
プレイルーム	71.87 m <sup>2</sup>	○			コンクリート下地 木質フローリング	木製 H=60	下地合板+シナ合板t5.5目透貼 自然保護塗装	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.700	
授乳室	7.07 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 木質フローリング	木製 H=60	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.500	
親子WC	5.00 m <sup>2</sup>			○	コンクリート下地 木質フローリング	木製 H=60	石膏ボードt12.5 化粧珪酸カルシウム板t6.0	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.500	
プレイルーム2	52.71 m <sup>2</sup>	○			コンクリート下地 木質フローリング	木製 H=60	下地合板+シナ合板t5.5目透貼 自然保護塗装	塩ビ製	石膏ボードt9.5 ロックウール吸音板t9.0	2.700	
階段	6.62 m <sup>2</sup>				コンクリート下地 木質フローリング						

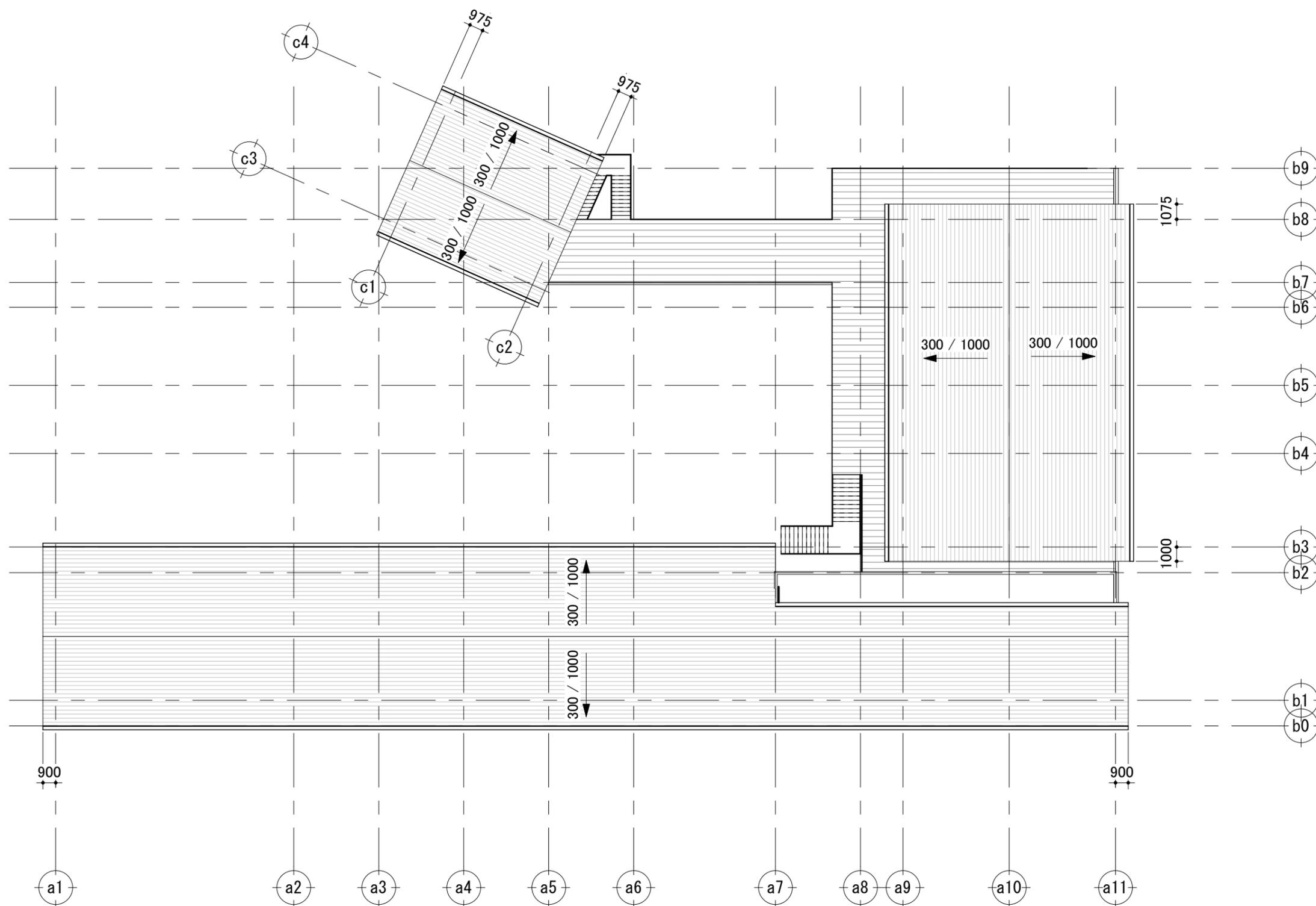


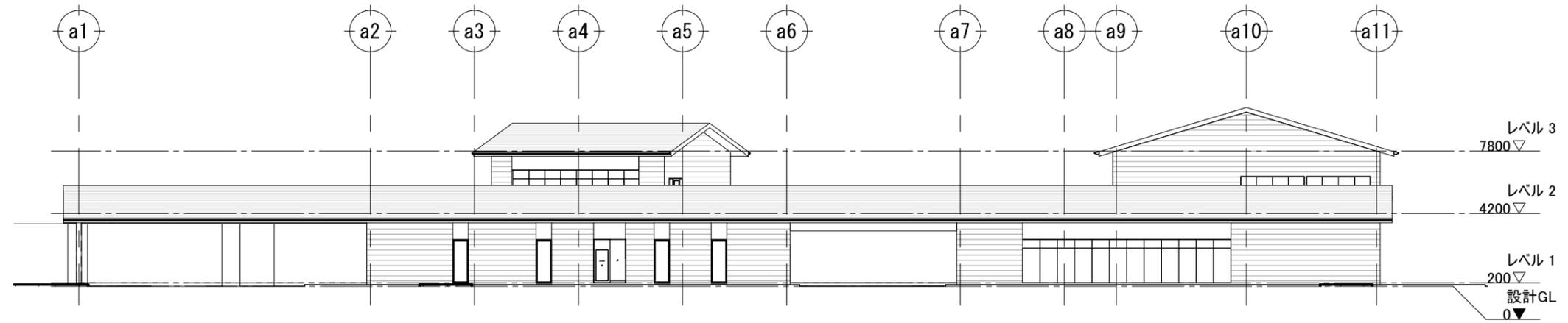
1階平面図

名前	面積
<b>A1. 休憩機能</b>	
SK2	3.60 m <sup>2</sup>
ベビーコーナー1	6.00 m <sup>2</sup>
ベビーコーナー2	6.84 m <sup>2</sup>
多機能WC	6.60 m <sup>2</sup>
女子トイレ	70.03 m <sup>2</sup>
情報提供	56.32 m <sup>2</sup>
男子トイレ	39.60 m <sup>2</sup>
	189.00 m <sup>2</sup>
<b>A2. 地域連携機能</b>	
レストラン	203.38 m <sup>2</sup>
厨房	64.29 m <sup>2</sup>
検収室	5.04 m <sup>2</sup>
物産・産直	210.48 m <sup>2</sup>
軽食販売	18.00 m <sup>2</sup>
風除室1	9.00 m <sup>2</sup>
風除室2	7.20 m <sup>2</sup>
食品庫	9.66 m <sup>2</sup>
	527.05 m <sup>2</sup>
<b>A3. 管理機能</b>	
2階倉庫	21.64 m <sup>2</sup>
SK1	4.20 m <sup>2</sup>
WC1	3.60 m <sup>2</sup>
WC2	3.60 m <sup>2</sup>
事務室	36.00 m <sup>2</sup>
休憩	18.00 m <sup>2</sup>
倉庫	46.80 m <sup>2</sup>
倉庫・休憩	27.00 m <sup>2</sup>
機械室	29.70 m <sup>2</sup>
設備スペース	128.56 m <sup>2</sup>
通路1	47.46 m <sup>2</sup>
	366.57 m <sup>2</sup>
<b>A4. 共用部</b>	
HWC	6.60 m <sup>2</sup>
MWC	14.85 m <sup>2</sup>
PS	0.75 m <sup>2</sup>
WWC	14.85 m <sup>2</sup>
通路3	10.80 m <sup>2</sup>
階段1	16.44 m <sup>2</sup>
	64.29 m <sup>2</sup>
<b>B1. 子育て支援</b>	
プレイルーム	71.87 m <sup>2</sup>
プレイルーム2	52.71 m <sup>2</sup>
土間	10.56 m <sup>2</sup>
授乳室	7.07 m <sup>2</sup>
親子WC	5.00 m <sup>2</sup>
階段	6.62 m <sup>2</sup>
	153.83 m <sup>2</sup>
<b>外部</b>	
ポーチ	90.00 m <sup>2</sup>
車椅子用駐車場	151.20 m <sup>2</sup>
	241.20 m <sup>2</sup>
合計: 40	1541.95 m <sup>2</sup>

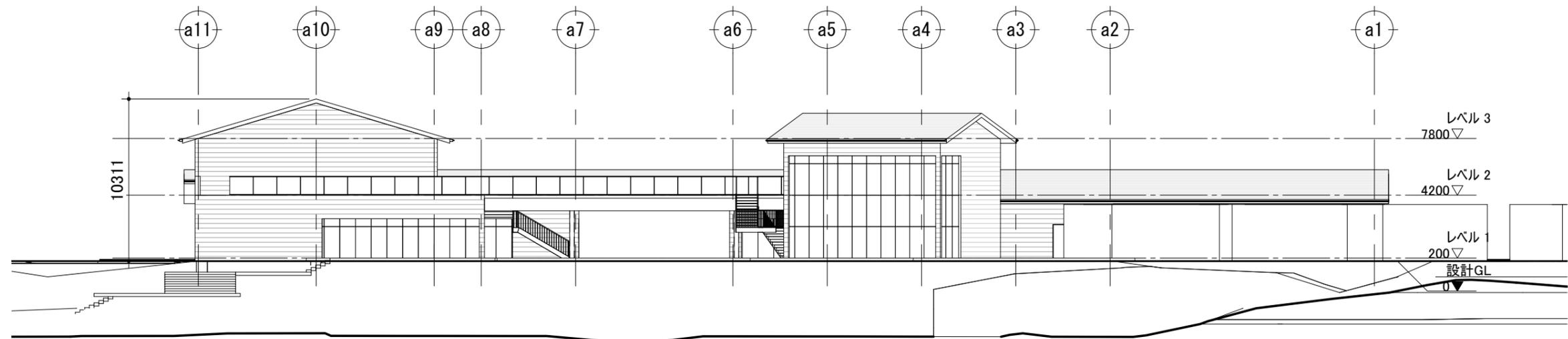


2階平面図

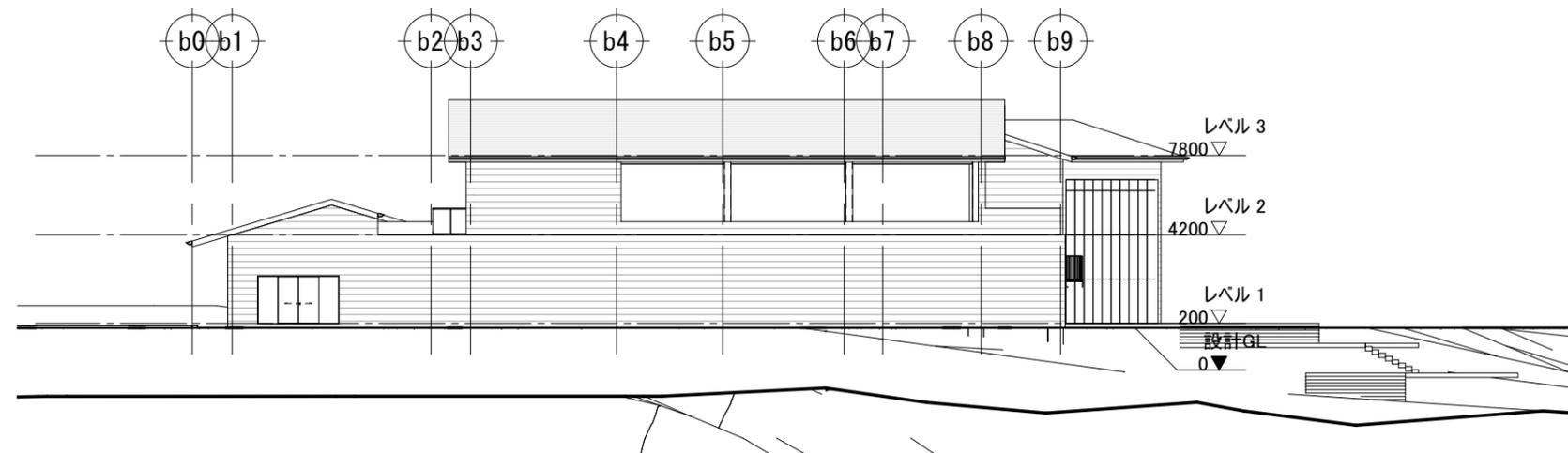




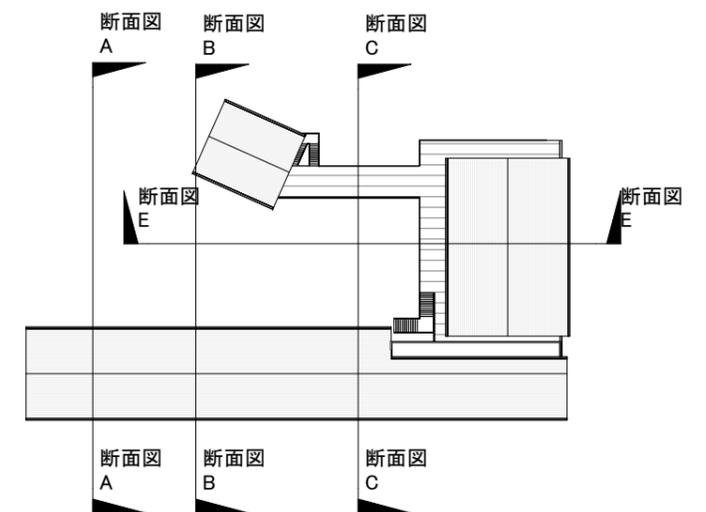
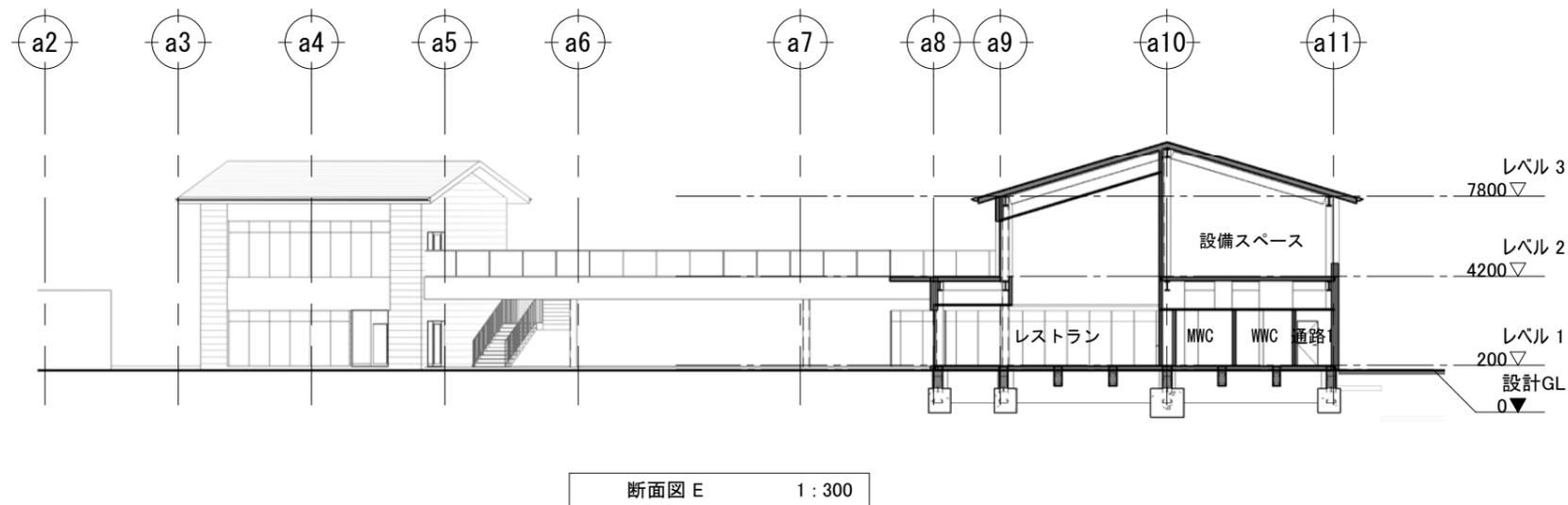
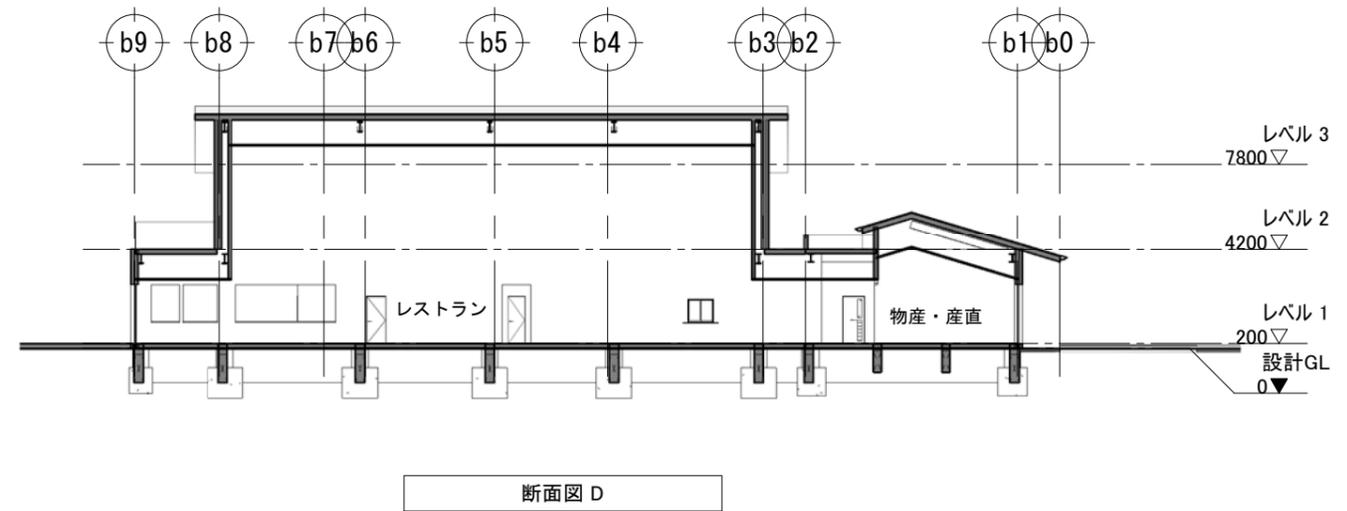
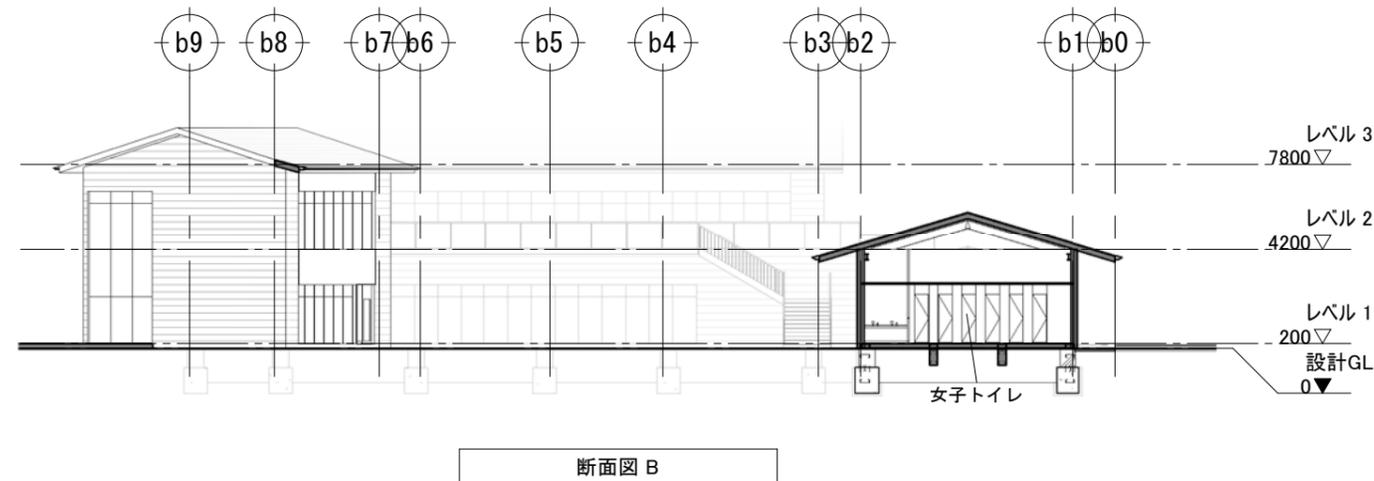
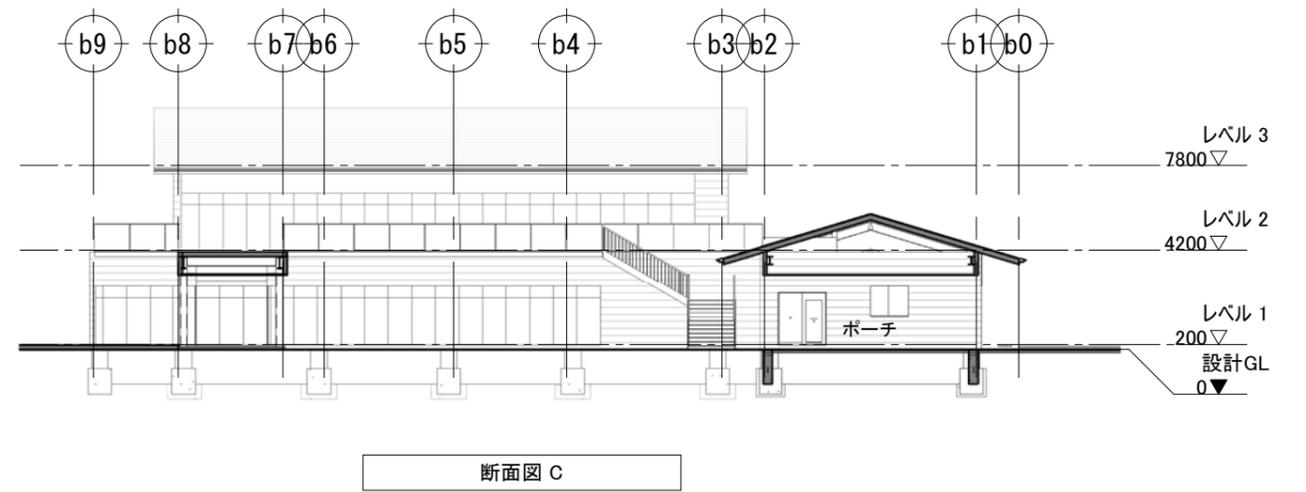
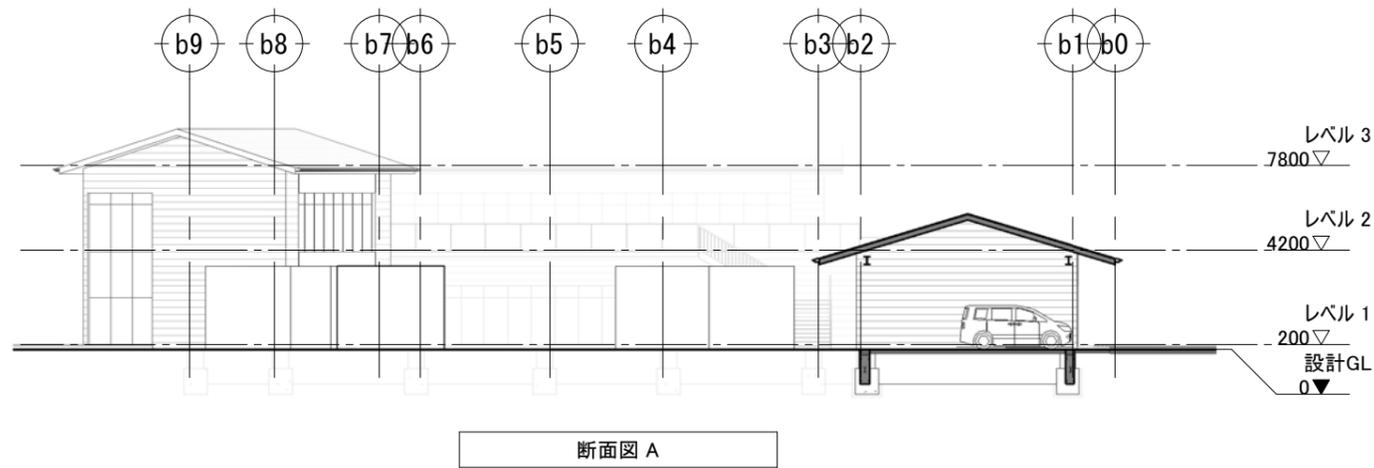
東側立面図 1 : 300

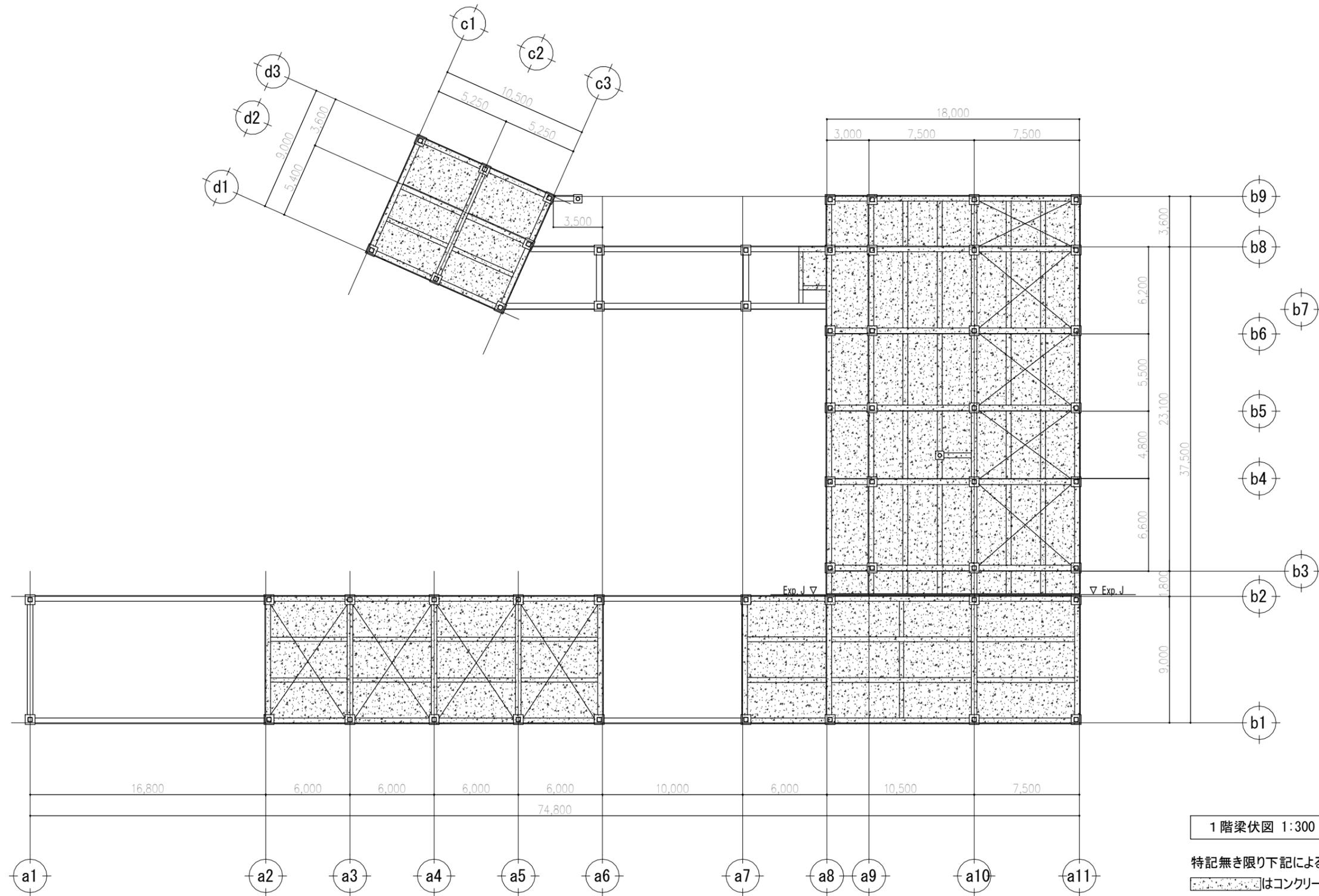


西側立面図 1 : 300



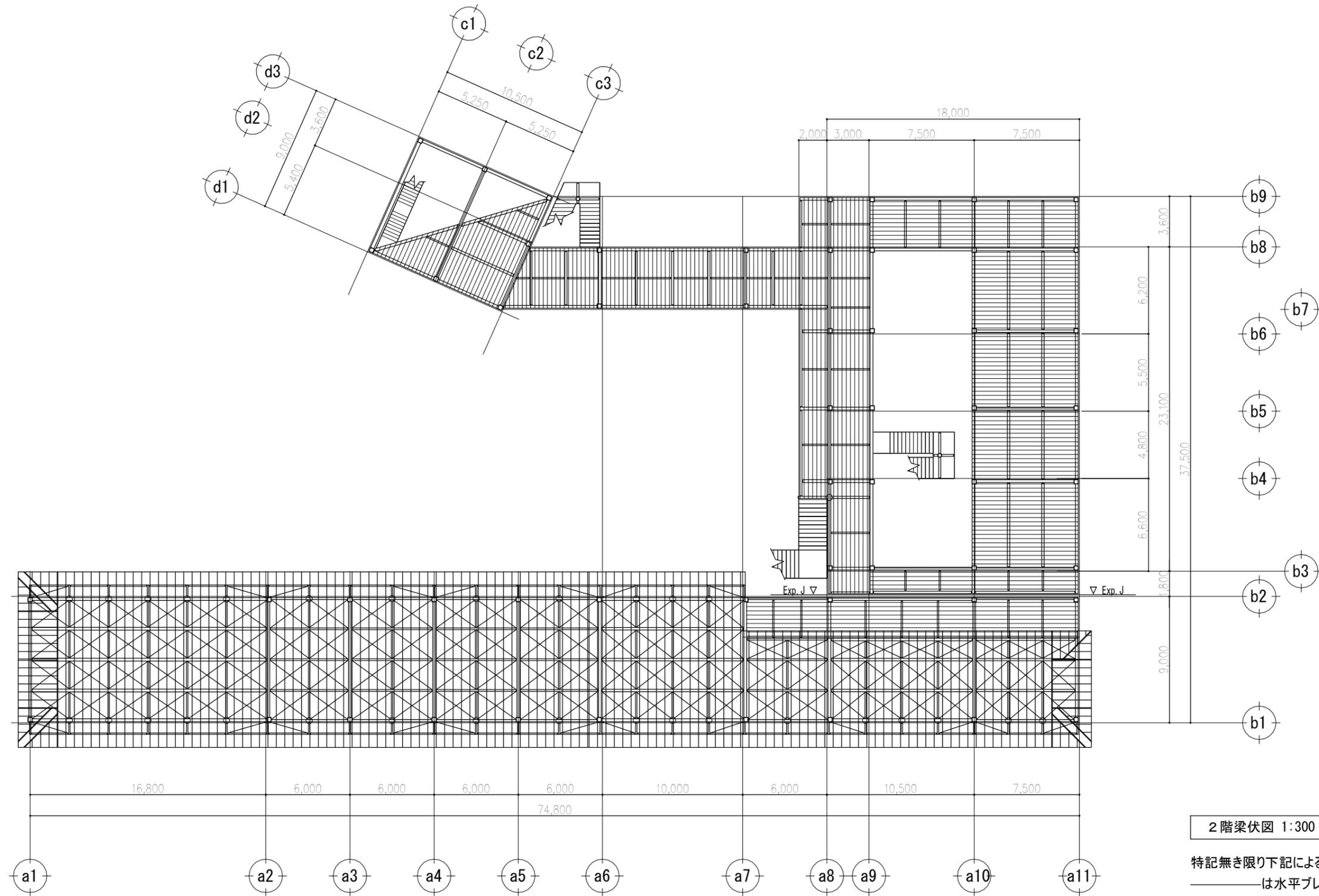
北側立面図 1 : 300





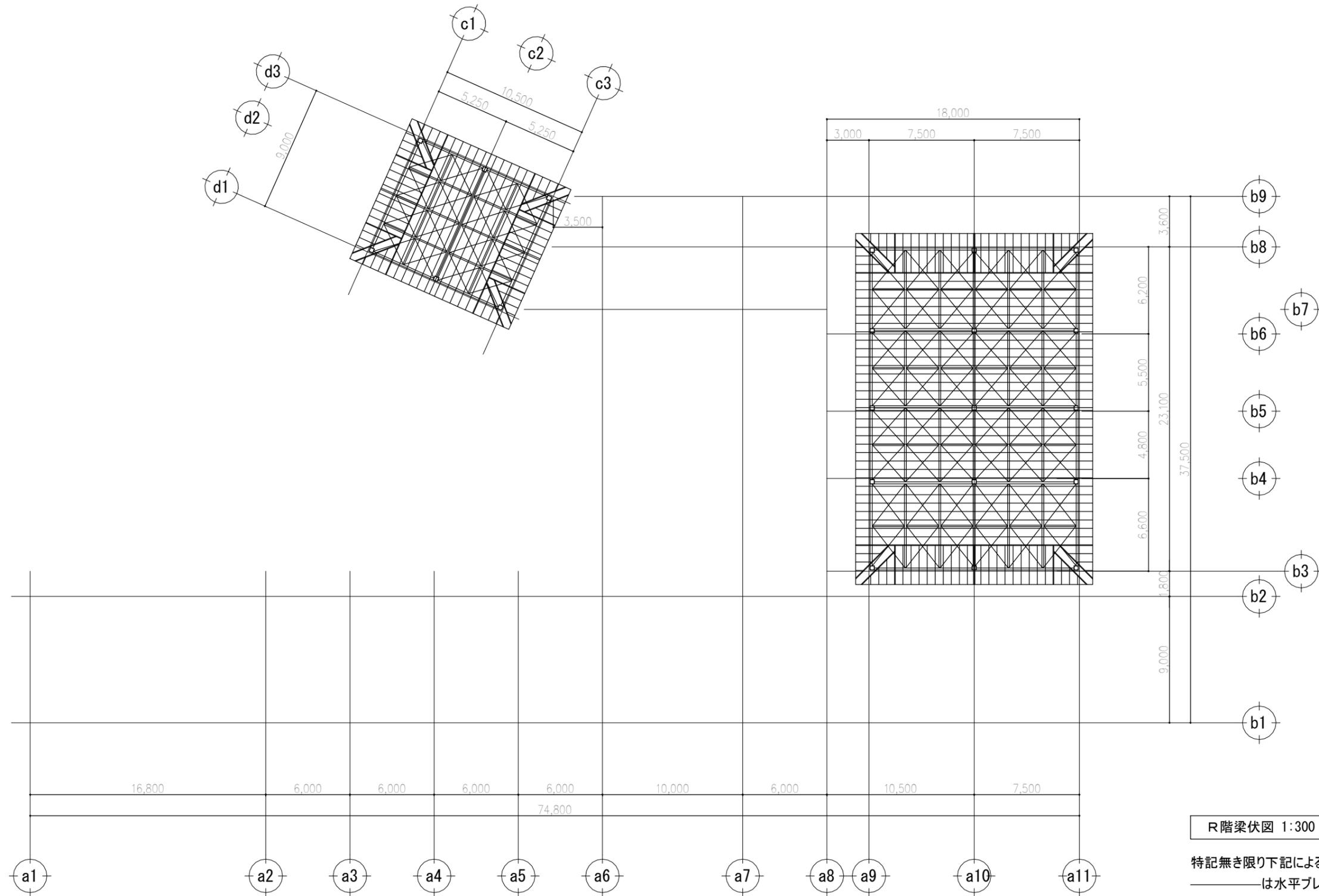
1階梁伏図 1:300

特記無き限り下記による  
 stippled pattern is concrete slab (コンクリートスラブを示す)  
 cross-hatching is bottom pit (下部ピットを示す)



2階梁伏図 1:300

- 特記無き限り下記による
- は水平ブレースを示す
  - は母屋を示す
  - は母屋(ダブル)を示す
  - ▨ は合成スラブを示す
  - は連続梁(剛接合)を示す



R階梁伏図 1:300

特記無き限り下記による  
 ——— は水平プレースを示す  
 ——— は母屋を示す  
 ——— は母屋(ダブル)を示す